

将来の公共交通を考えるための
市民アンケート調査結果報告書



平成 19 年 3 月 河 内 長 野 市

1. アンケート調査の概要

1-1. アンケート調査の背景と目的

市民の大切な移動手段として公共交通機関は大きな役割を果たしていますが、車社会の進展などにより利用者の減少傾向が続いており、その維持・活性化が課題となっています。また、高齢化の進展や生活スタイルの変化に伴い市民の移動ニーズは多様化しており、これらに対応した交通サービスの提供など公共交通ネットワークの充実が求められています。これらの状況を踏まえ河内長野市の実情に即した、持続可能な公共交通ネットワークのあり方について、大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻の日野泰雄教授の協力をいただき共同して調査研究を実施しています。今回のアンケート調査は、この調査研究の取り組みの一つとして実施したもので、市民のみなさまの交通行動の変化や評価などを把握し調査研究の資料とするものです。

1-2. アンケート調査の設計

(1) 調査対象

住民基本台帳データより無作為に抽出した満 20 歳以上の市民 5000 人を対象

(2) 調査方法

調査票の配布と回収は郵送により行ないました。

(3) 調査期間

平成 19 年 1 月 5 日（金）から平成 19 年 1 月 16 日（火）まで

(4) 調査内容

- 回答者の属性（住所、居住年数、家族状況、居住地選択理由、住居状況、定住意向、性別、年齢、職業、年齢、自動車等保有状況）
- 主な外出について（目的、外出先、頻度、交通手段、満足度等について居住当初と現在の状況）
- 市内のバス利用状況と評価について（目的、外出先、頻度、満足度等について居住当初と現在の状況および経費負担等）
- 将来の外出について（目的、外出先、頻度、交通手段等）
- 日常的な買物の外出について（買物される方の属性、外出先、頻度、交通手段、移動満足度等）
- 一人での外出が困難な方の外出について（方法、目的、外出先、頻度、移動満足度等）

1-3. 配布・回収状況

配布数	:	5000 票
回収数	:	2388 票
回収率	:	47.76%

1-4. 調査結果の見方

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分率(%)を表している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%を上下することがある。
- (2) 各設問の回答者数を基数としているため、該当する回答を全て選択する設問は全ての比率を合計すると100%を超える。
- (3) 重要なものから3つ選択する設問は、重要なものから3、2、1と得点化し平均を算出したものである。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は場合によっては語句を簡略化してある。

2. 河内長野市の公共交通を考えるための市民アンケート調査結果

[] あなたのことにについておたずねします

問 -1 居住地区

回答者の居住地区の割合は、河内長野市全体に対する各地区の人口規模をほぼ反映したものとなっている。

図 1-1 居住地区

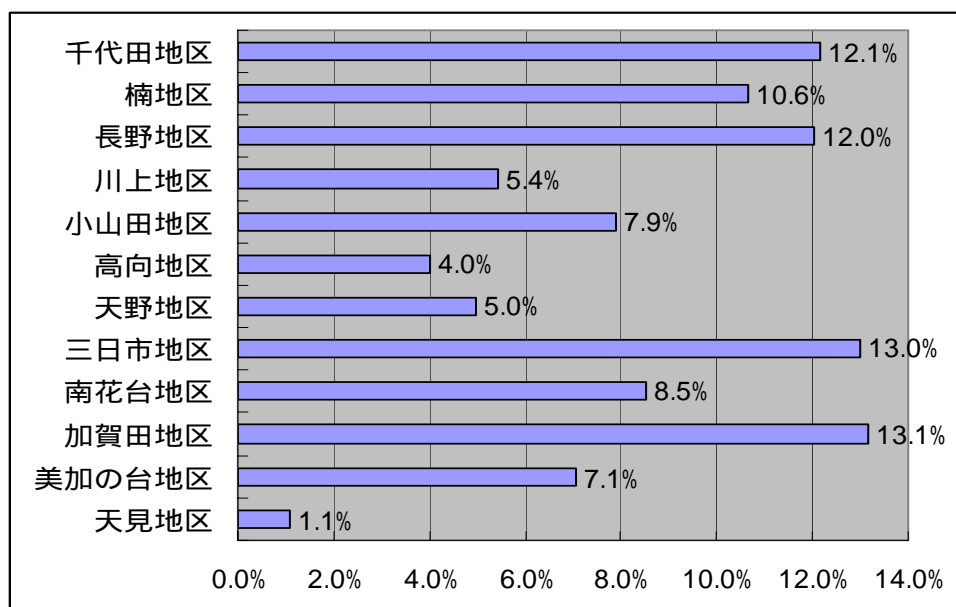


図 -1 小学校区別人口に対する回収率

居住地区：各小学校区毎の地区単位としています。ただし、「加賀田地区」は加賀田小学校区と石仏小学校区を、「南花台地区」は南花台東小学校区と南花台西小学校区を地区としています。

問 -2 居住年数

全体でみると居住年数は「10年～19年」が24.7%と最も多く、次いで「30年～49年」が23.0%、「20年～29年」が22.0%と続いている。美加の台地区は居住年数から新しい地区であることがわかる。

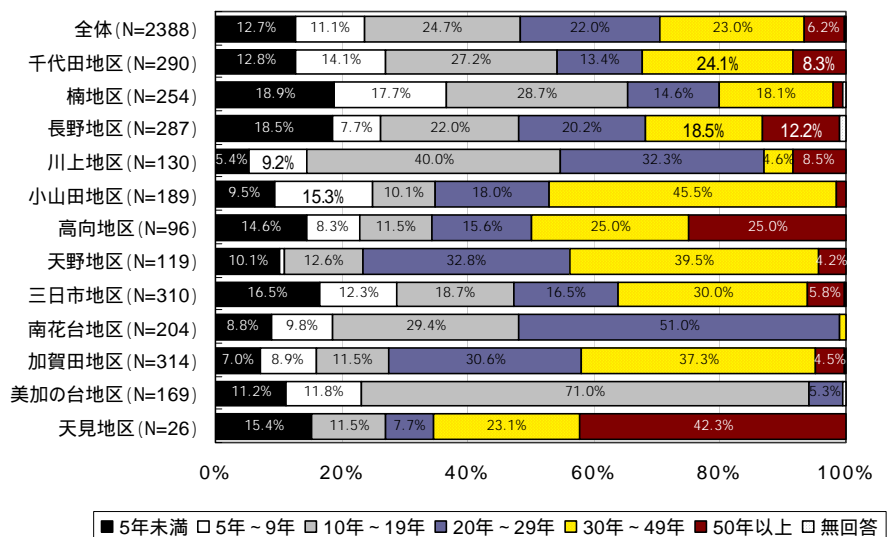


図 1-2 居住年数問

問 -3-1 世帯構成

同居家族構成は全体では「2人」が29.2%と最も多く、次いで、「3人」が23.1%が続いている。また、「1人（単身世帯）」も14.4%となっている。

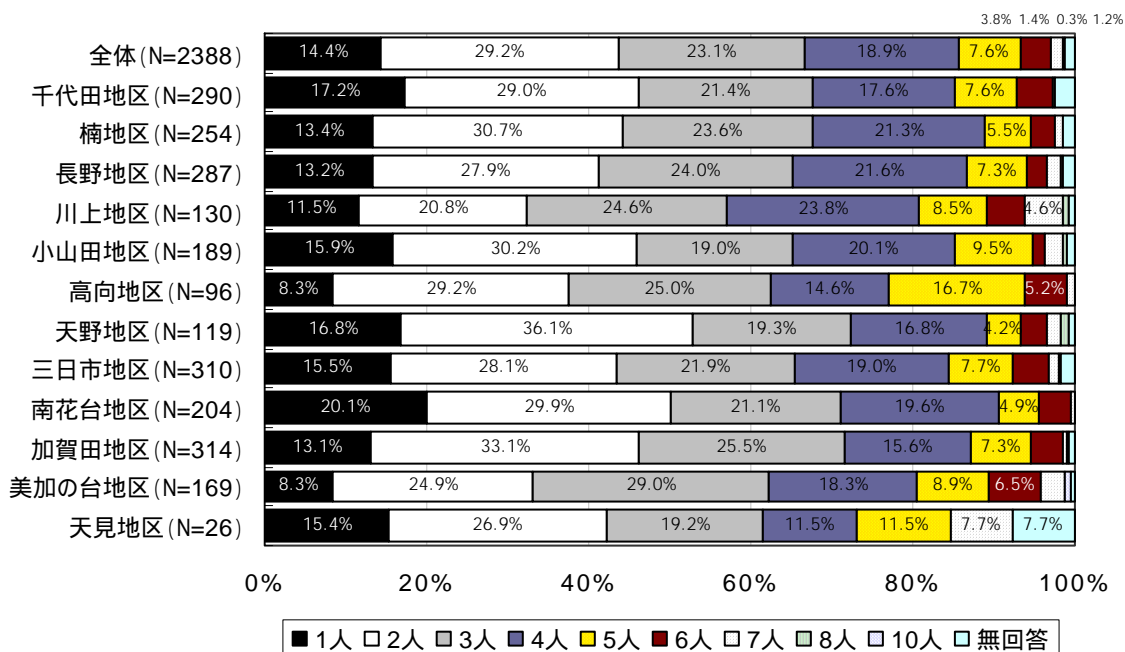


図 1-3-1 世帯構成

問 -3-2 高齢者（65歳以上）の単身世帯の割合

単身世帯のうち、高齢者（65歳以上）単身世帯の割合をみると、全体的には51.9%となっており、小山田地区においては63.3%と比較的高い値を示している。

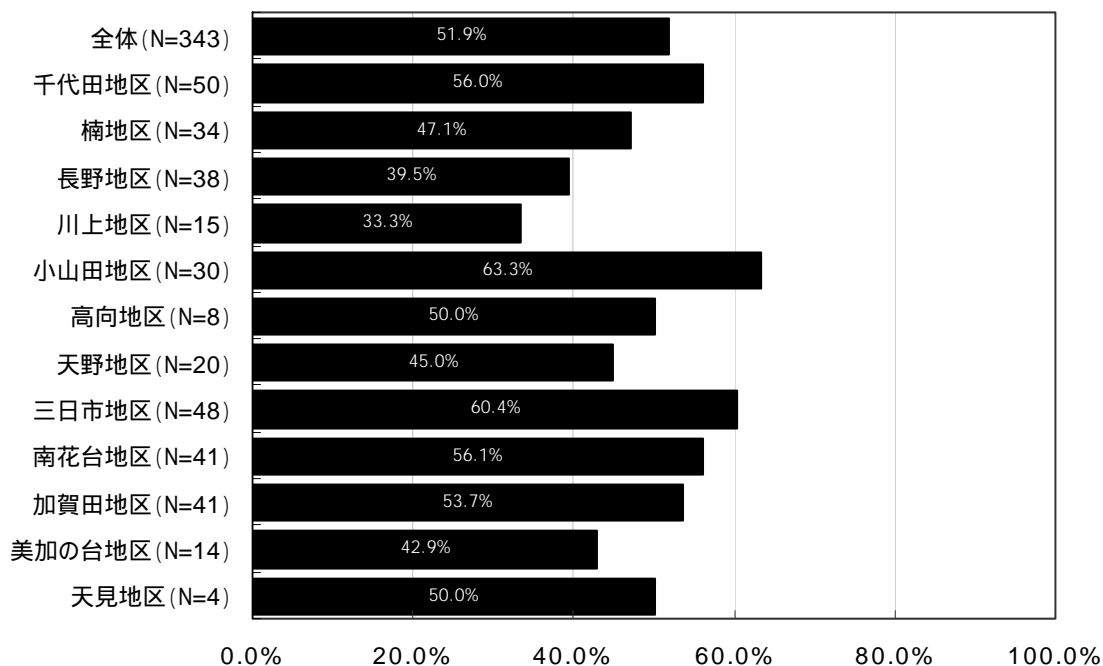


図 1-3-2 高齢者単身世帯の割合

問 -4 外出困難者の人数

家族に一人で外出するのが困難な人がいる方は、「1人いる」が12.9%で「2人以上いる」を合わせると全体で14.9%である。地区別では高向地区が少し多いが大きな差はない。

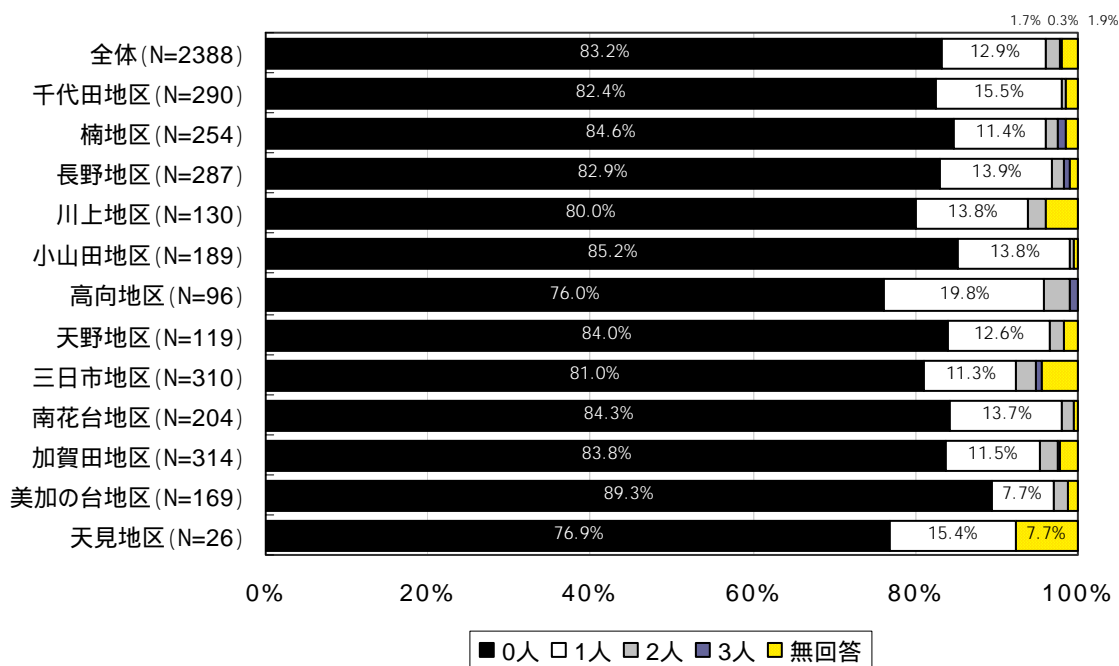


図 1-4 外出困難者の人数

問 5 居住地選択要因（1～3位選択）

居住地選択条件は、全体では「住宅環境（価格や広さ等）」（25.5％）が最も重視されていて、次いで「自然の豊かさ」（18.1％）、「鉄道の便利さ」（15.9％）と続いている。地区別では鉄道駅に近い地区では「鉄道の便利さ」が多く、遠い地区では「自然環境」が多い傾向となっている。

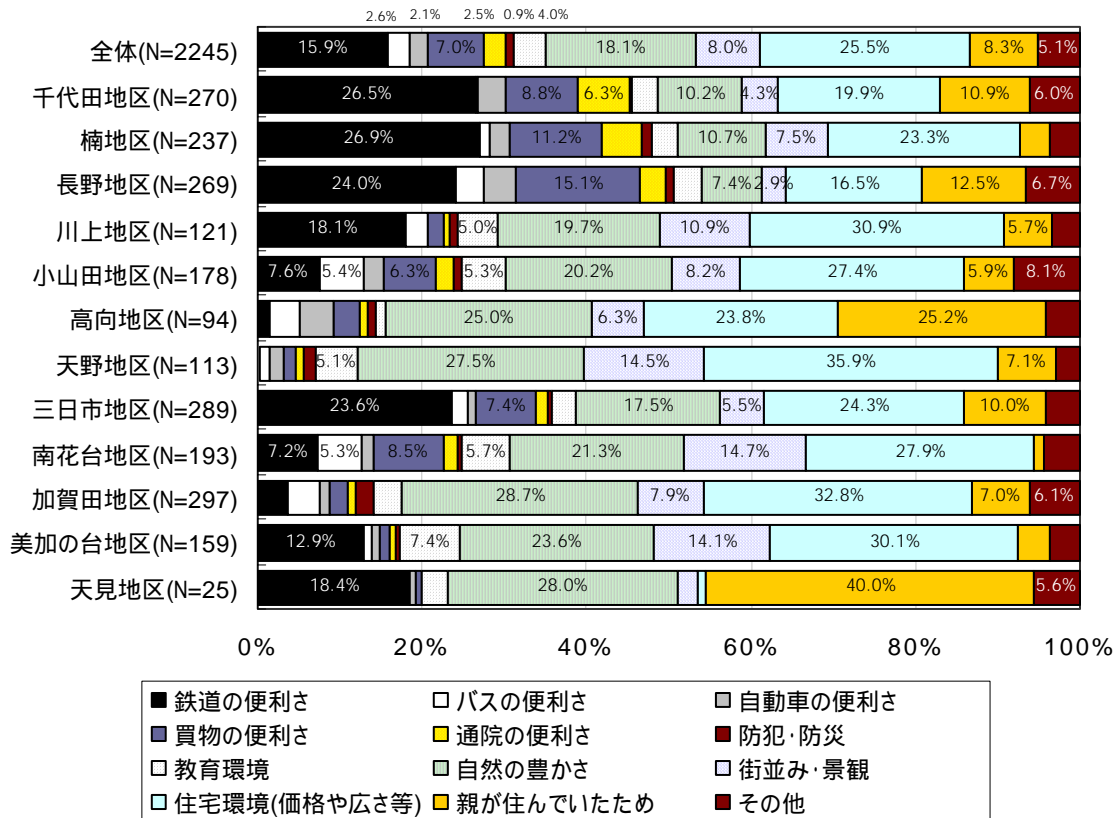


図 1-5 居住地選択要因

問 -6 居住形態

「持ち家(一戸建て)」が 78.0%で、「持ち家(アパート・マンション)」8.8%を合わせると、86.8%が持ち家となっている。

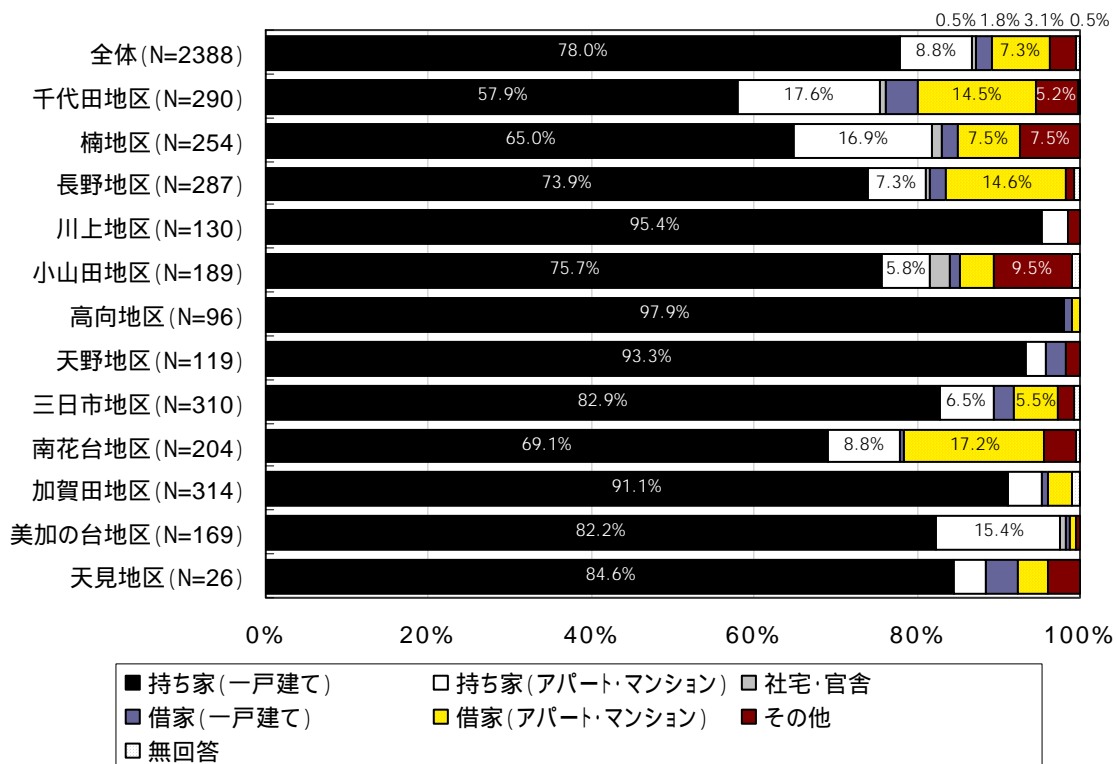


図 1-6 居住形態

問 -7-1 定住意向

「定住したい」が 75.9%で定住意向は比較的高い。

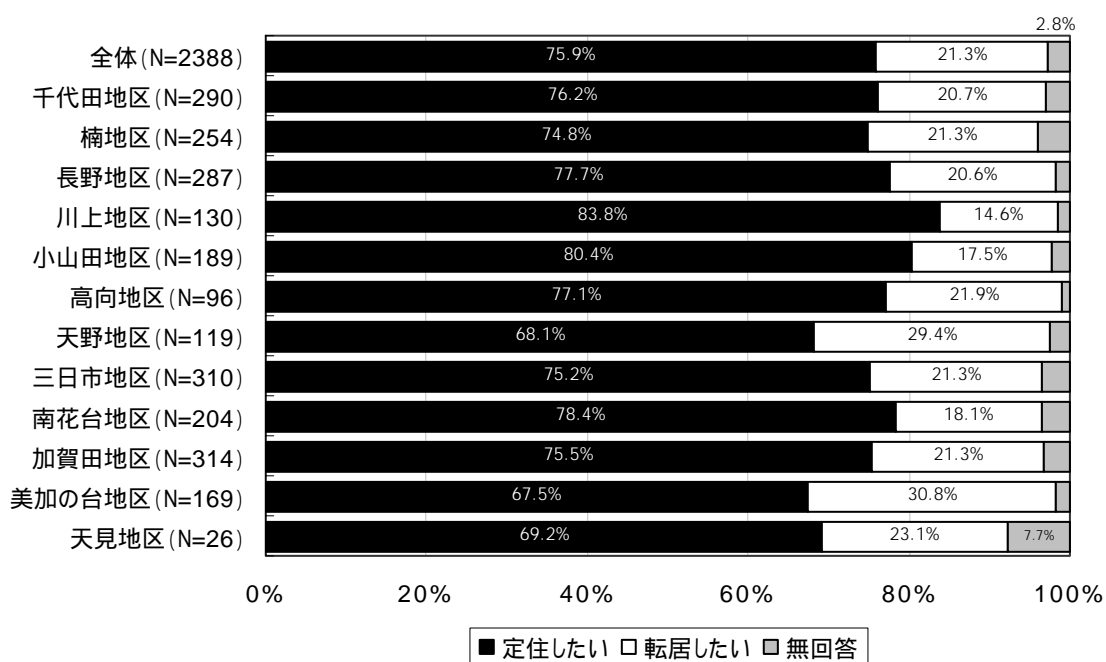


図 1-7-1 定住意向

問 -7-2 転居地選択要因（1～3位選択）

転居地選択条件としては、「鉄道の便利さ」（21.9％）が最も多く、「買物の便利さ」（19.7％）、「住宅環境（価格や広さ等）」15.3％、「通院の便利さ」（12.5％）と続いており、生活面での利便性が高い値であった。居住地選択条件で多かった自然の豊かさは、5.2％と低い値であった。

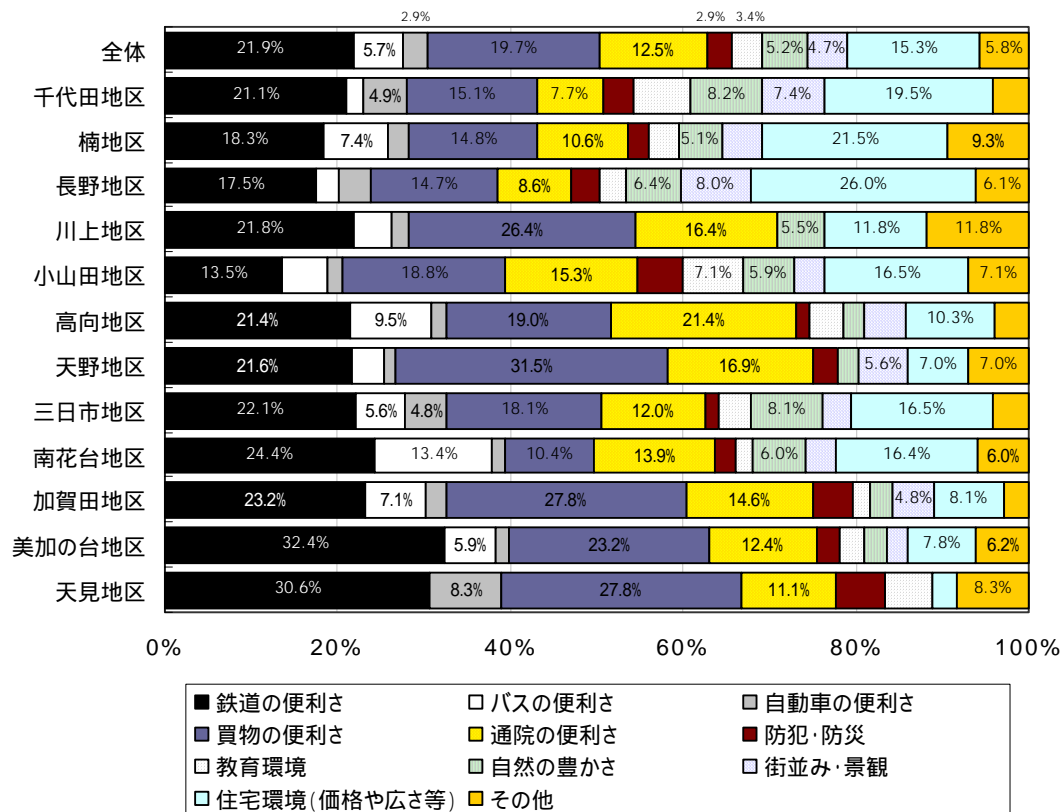


図 1-7-2 転居地選択要因

問 -8 性別

回答者は「男性」の割合が 62.4％と高かった。

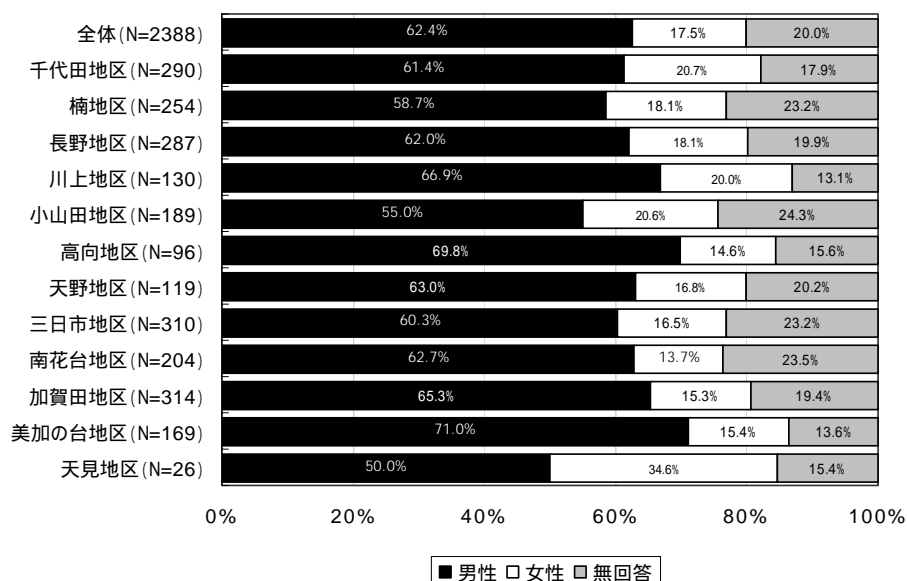


図 1-8 性別

問 -9 年齢（現在）

「60 歳代」（27.3%）が最も多く、「50 歳代」（20.1%）、「70 歳代」（17.3%）と続いている。

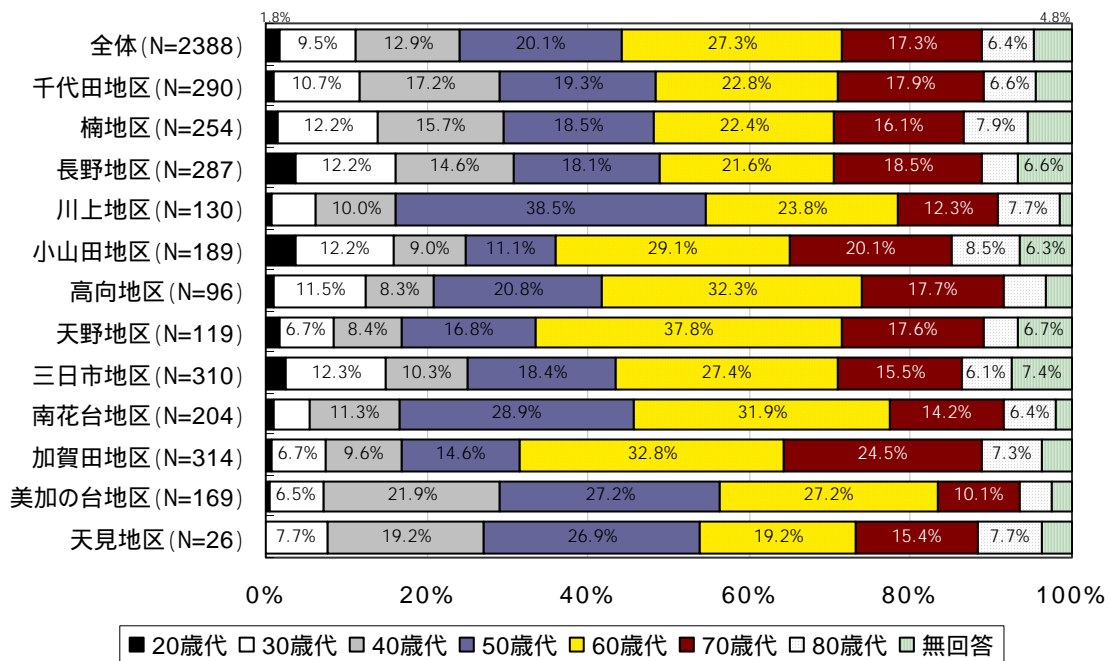


図 1-9 年齢層別人口

問 -10 職業（現在）

「会社員・公務員」が 40.8%と最も多く、次いで「無職」（35.7%）が続いている。

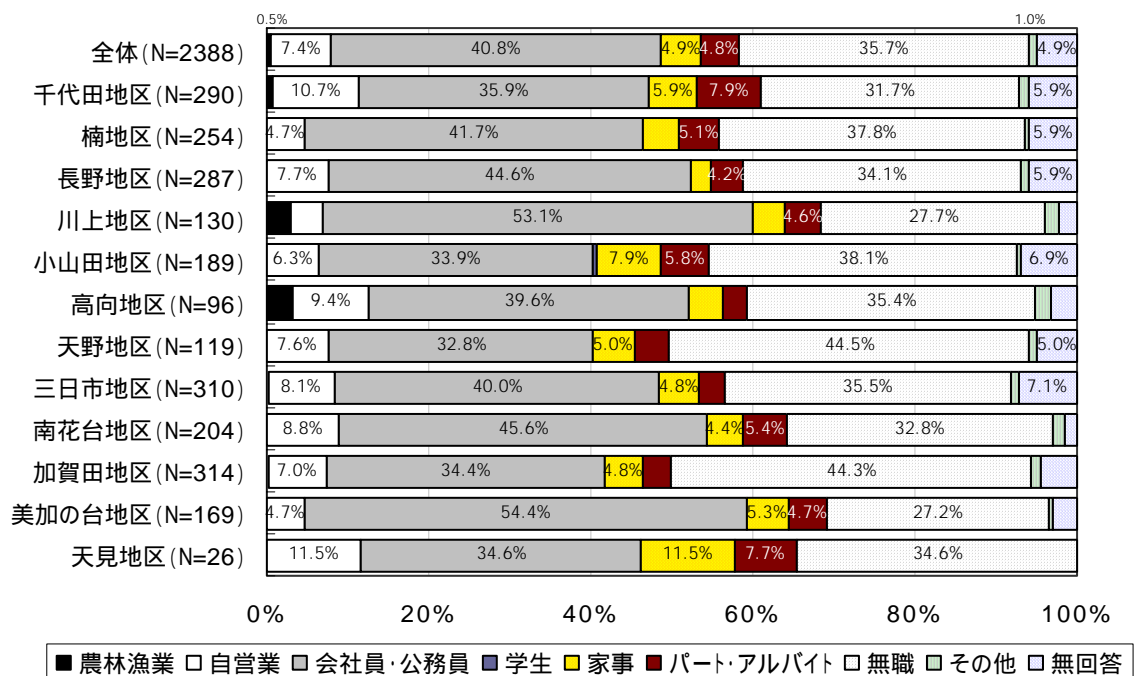


図 1-10 職業

問 11 自動車・バイクの保有状況（現在・複数回答）

自動車・バイクの保有状況は「運転できる車がある」(56.8%)、「運転できるバイクがある」(15.5%)、「同乗できる車がある」(15.4%)の順となっており、全体として車・バイクの交通手段が利用できる割合は約9割となっている。

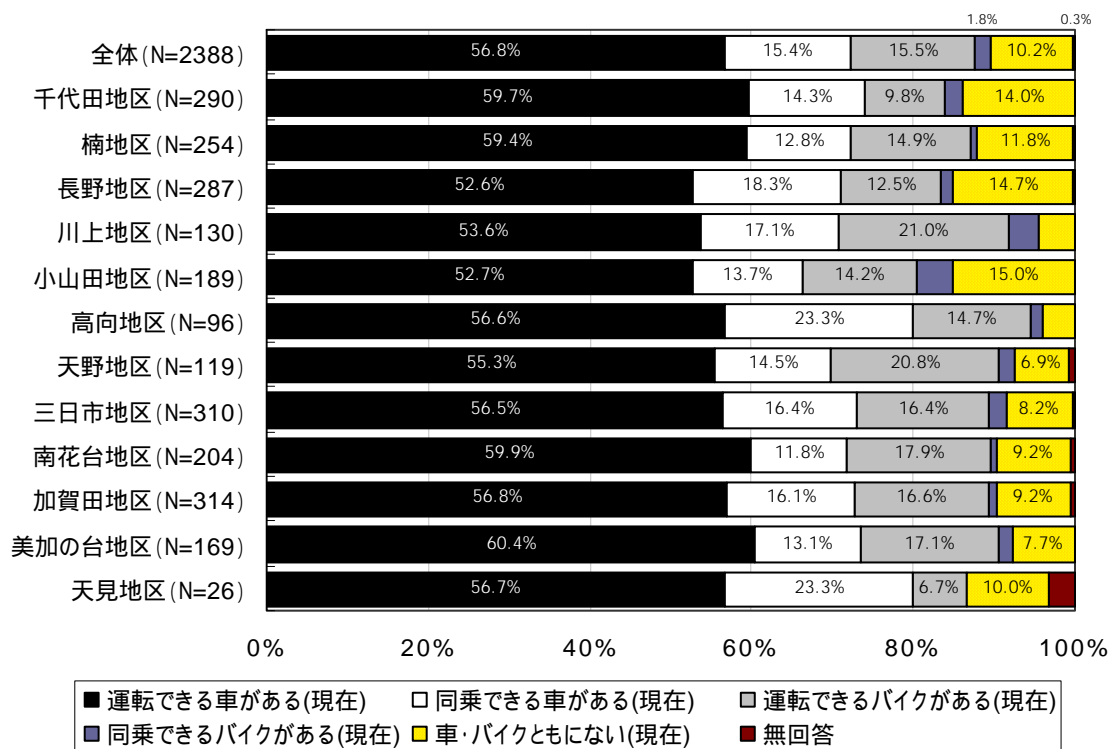


図 1-11 利用交通手段の有無

[] あなたの外出についておたずねします

問 -1 主な外出目的(現在)

全体では「通勤」(37.3%)、「買物」(25.3%)が6割以上である。地区別では天見地区、天野地区で買物がそれぞれ42.3%、37.0%と多くなっている。

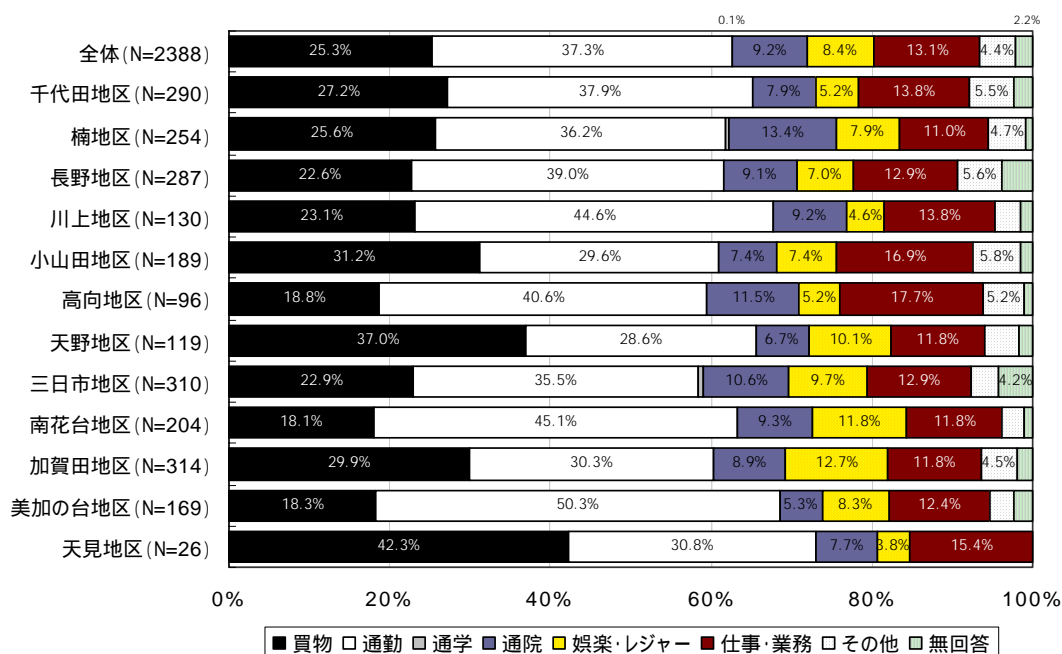


図 2-1 主な外出目的

問 -2 主な外出先(現在)

主な外出先として「河内長野市内」が44.6%と最も多く、「大阪市」(21.3%)が続いている。

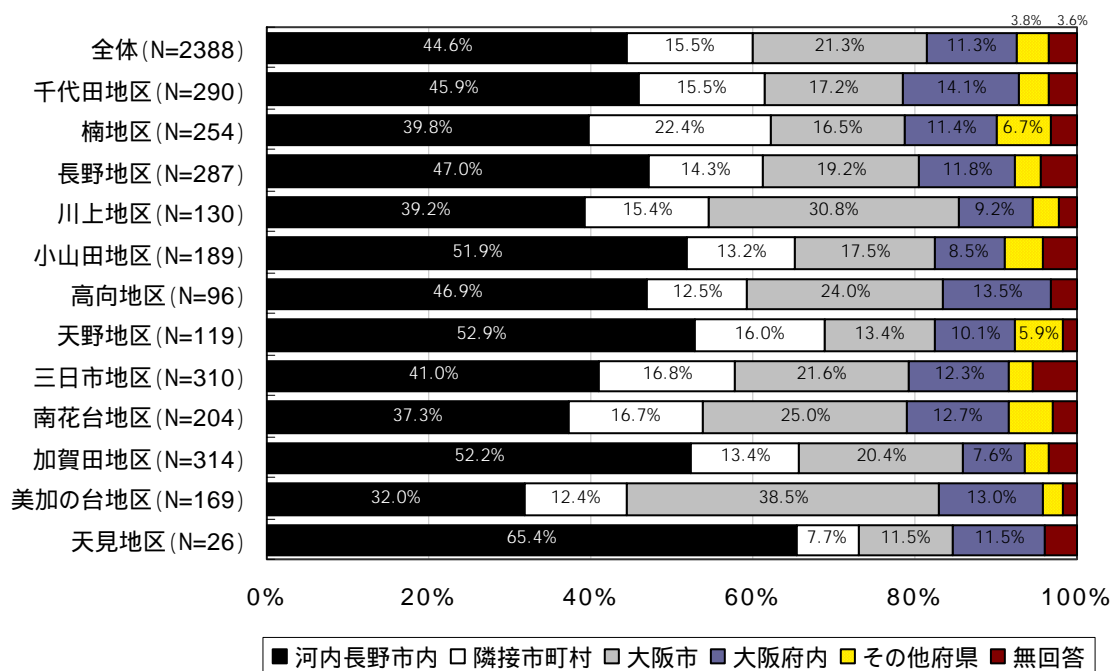


図 2-2 主な外出先

問 -3 外出頻度(現在)

全体では「週に5日以上」(48.3%)が最も多く、「週に3～4日」(19.8%)、「週に1～2日」(17.9%)と続き週に1日以上外出する人は約9割となっている。

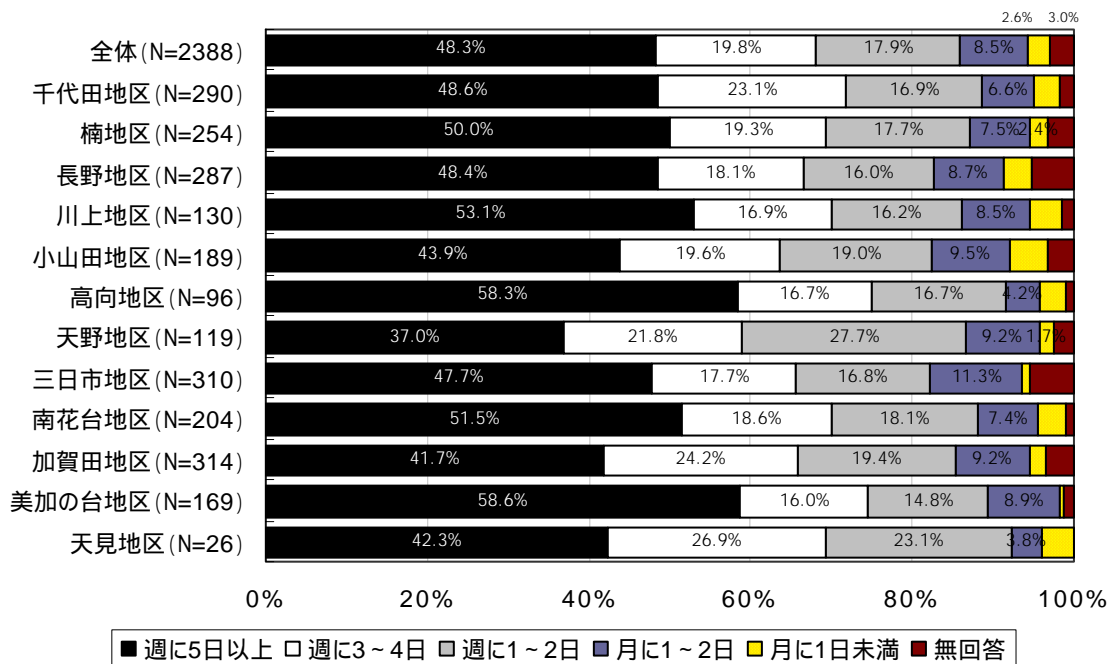


図 2-3 外出頻度

問 -4 主な交通手段(現在)

主な交通手段は、「自動車運転」(38.8%)が最も多く、「鉄道」(31.7%)が次いで多くこの2つの交通手段で7割以上を占める。バスはかなり低くなっている。

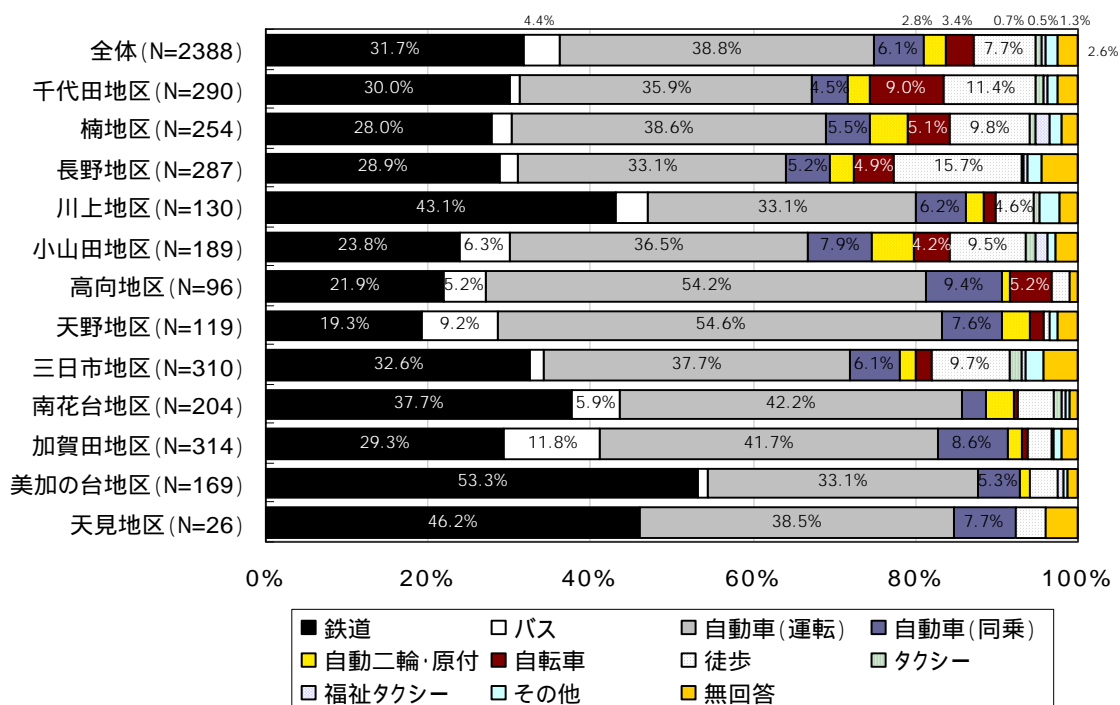


図 2-4 主な交通手段

複数の交通手段を利用する場合は、最も移動距離が長い交通手段を選択

問 -5 端末交通手段(現在)

鉄道利用者の端末交通手段は、「徒歩」(42.7%)と「バス」(29.0%)が多く、鉄道駅に近い地区では徒歩が多く、遠い地区ではバスが多くなっている。

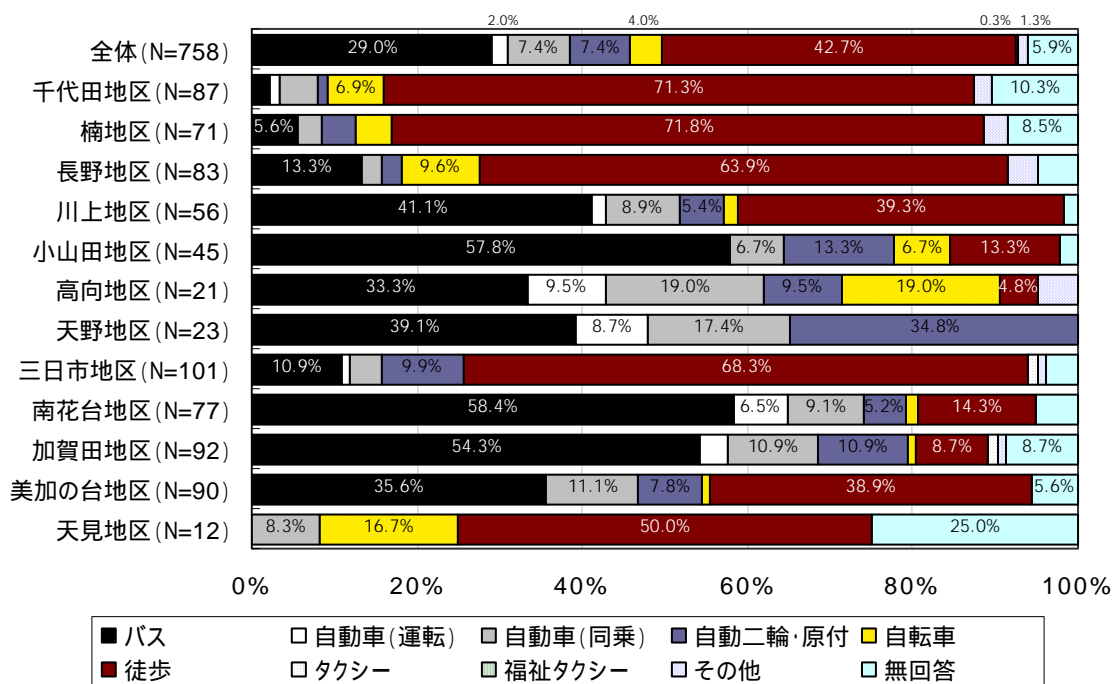


図 2-5 端末交通手段

問 -6-1 移動満足度(現在)

全体では「大変満足」(14.0%)と「どちらかといえば満足」(39.4%)で約6割となっている。地域別では、加賀田、天見、天野、美加の台地区は不満の割合が満足より多い。

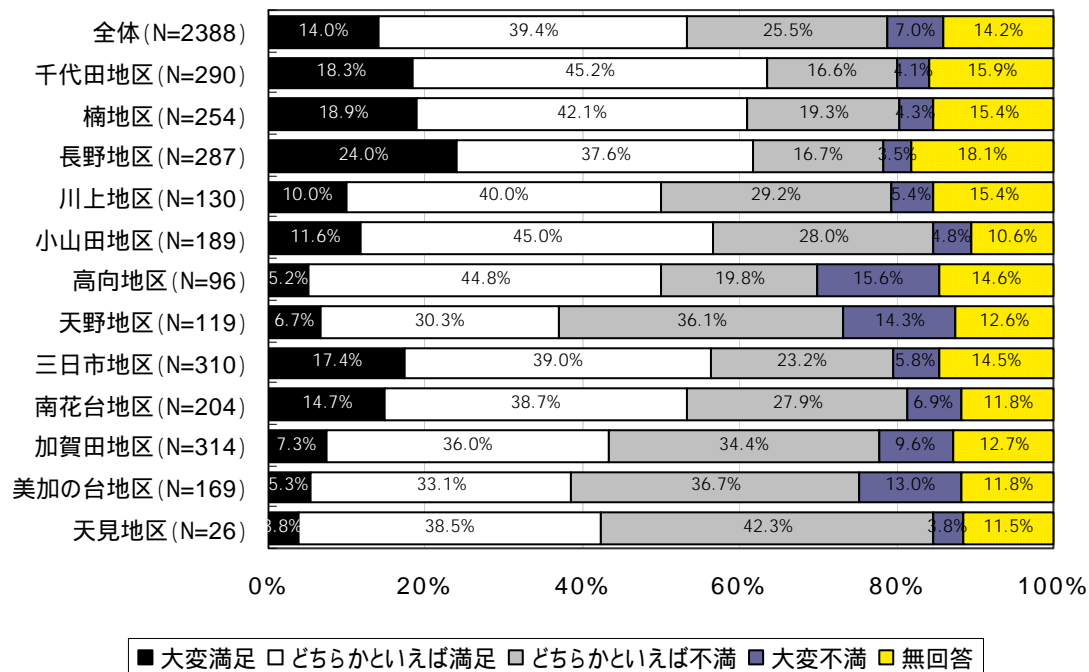


図 2-6-1 移動満足度

問 -6-2 不満理由(現在・1～3位の選択項目)

不満とされた理由は、「自宅から駅が遠い」(16.8%)、「便数が少ない」(14.7%)、「交通費がかかる」(13.3%)、「時間がかかる」(12.1%)の順となっている。

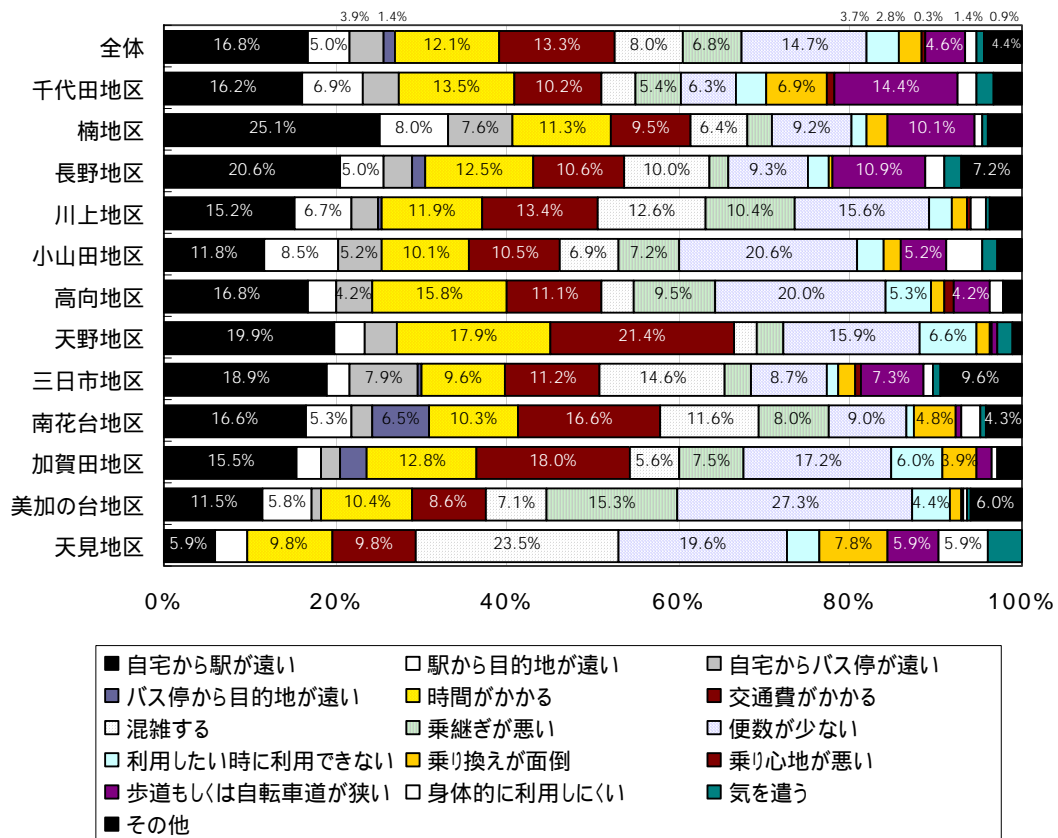


図 2-7 不満理由

[] あなたのバスの利用状況とその評価についておたずねします

問 -1 バス利用状況(現在)

「ほとんど利用しない」(43.2%)が最も多く、「ごくまれに利用する」(22.4%)が続き、「よく利用する」は13.2%となっている。地区別では鉄道駅に近い地区ではほとんど利用しない人の割合が高くなっている。

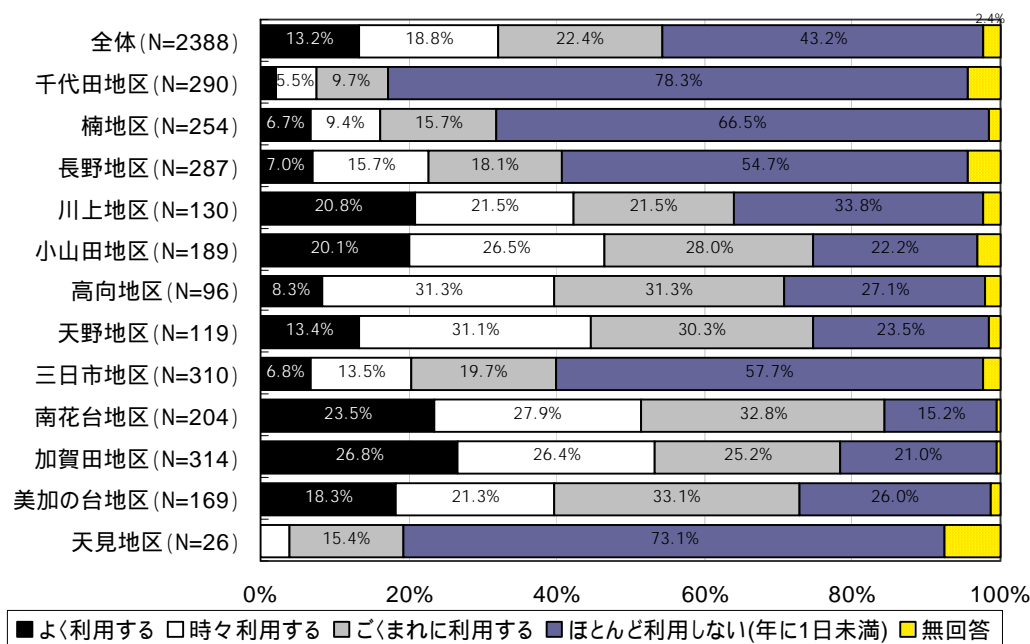


図 3-1 バス利用状況

問 -2 利用バス(現在)

「路線バス」が91.7%で「モックルコミュニティバス」は3.7%となっている。

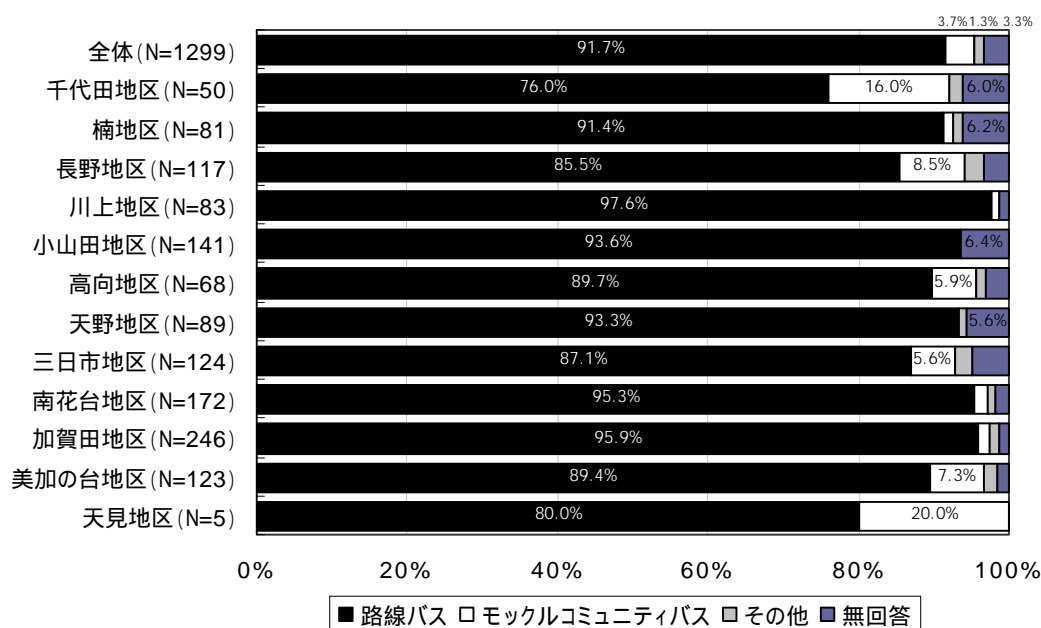


図 3-2 利用バス

問 -3 利用目的（現在）

バス利用目的は、「通勤」（27.6%）「娯楽・レジャー」（26.6%）が多く、「買物」（19.4%）「通院」（10.7%）が続いている。

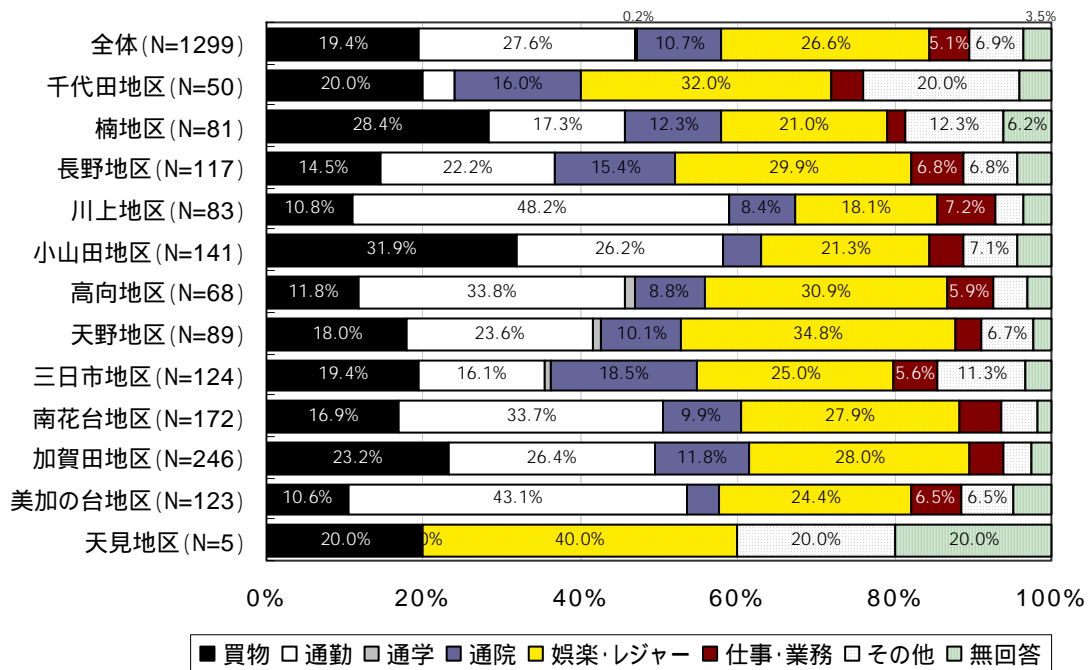


図 3-3 利用目的

問 -4 どこまで利用（現在）

「電車に乗るために駅までバスを使う」は 68.1% で、「目的地の近くまでバスを使う」は 24.5% であった。地区別では天見地区、千代田地区、三日市地区で「目的地の近くまで利用する」の割合が多くなっている。

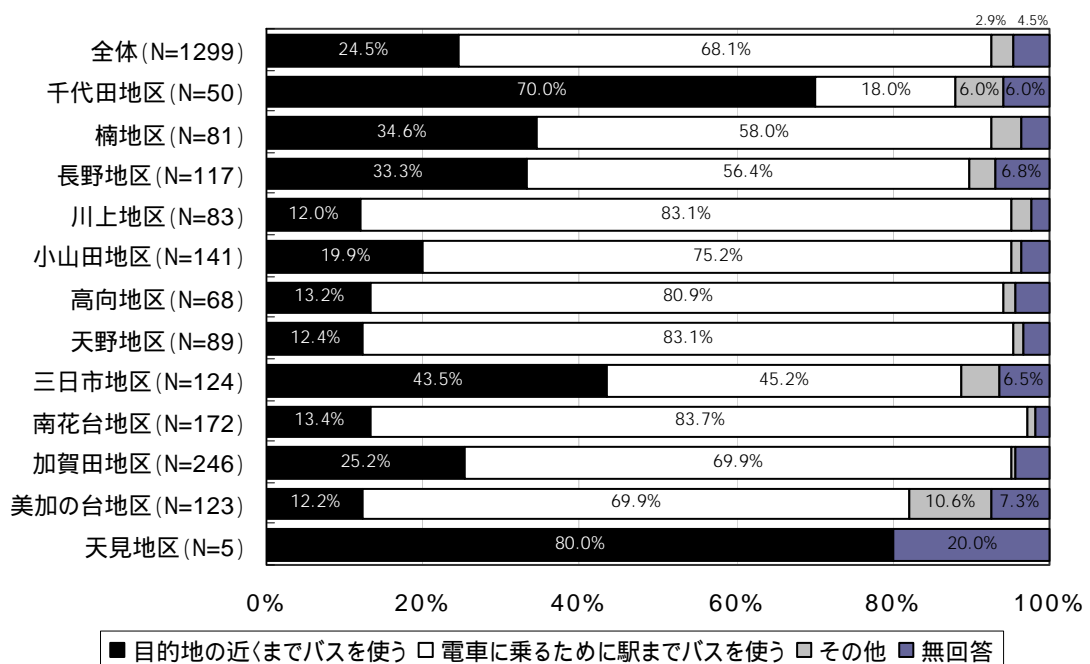


図 3-4 どこまで利用

問 -5 バス利用頻度(現在)

全体として、「ほとんど利用しない」(42.8%)が最も多く、「年に数回程度」(16.5%)、「月に1~2日」(15.5%)と続いている。地区別では、千代田地区や天見地区、楠地区、三日市地区、長野地区で「ほとんど利用しない」が多くなっている。

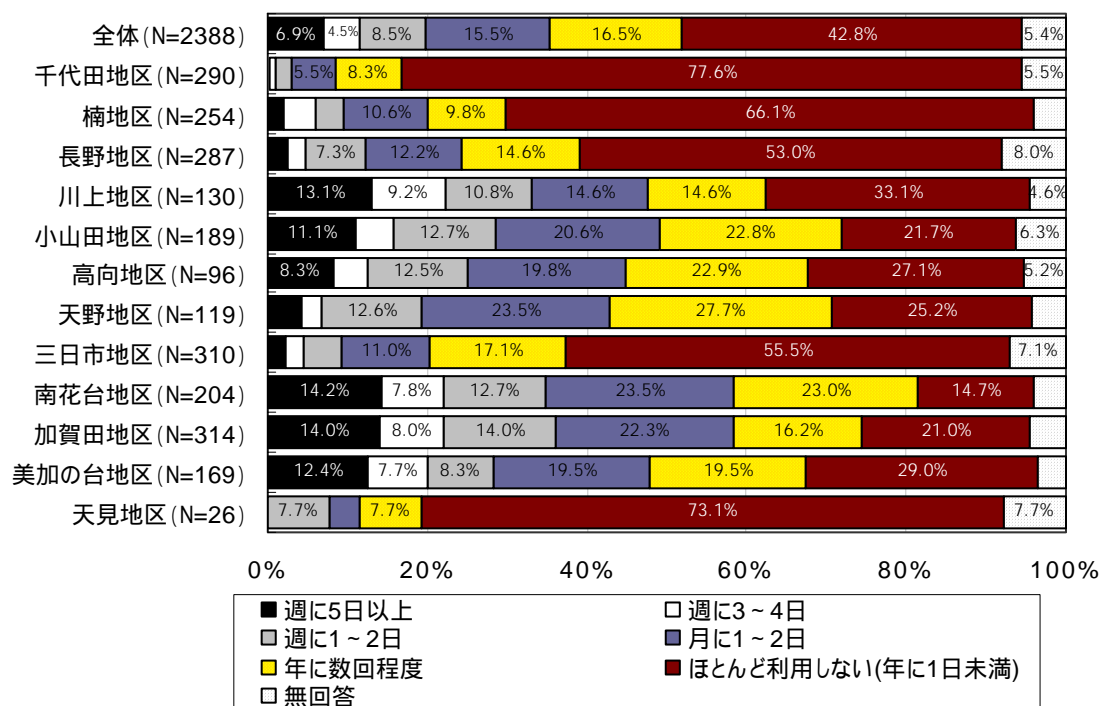


図 3-5 バス利用頻度

問 -6-1 バス移動満足度(現在)

全体としては、「どちらかといえば満足」(37.4%)、「どちらかといえば不満」(35.7%)の順となっている。「大変不満」(9.1%)、「大変満足」(7.5%)を含めて、満足、不満は半分半分となっている。

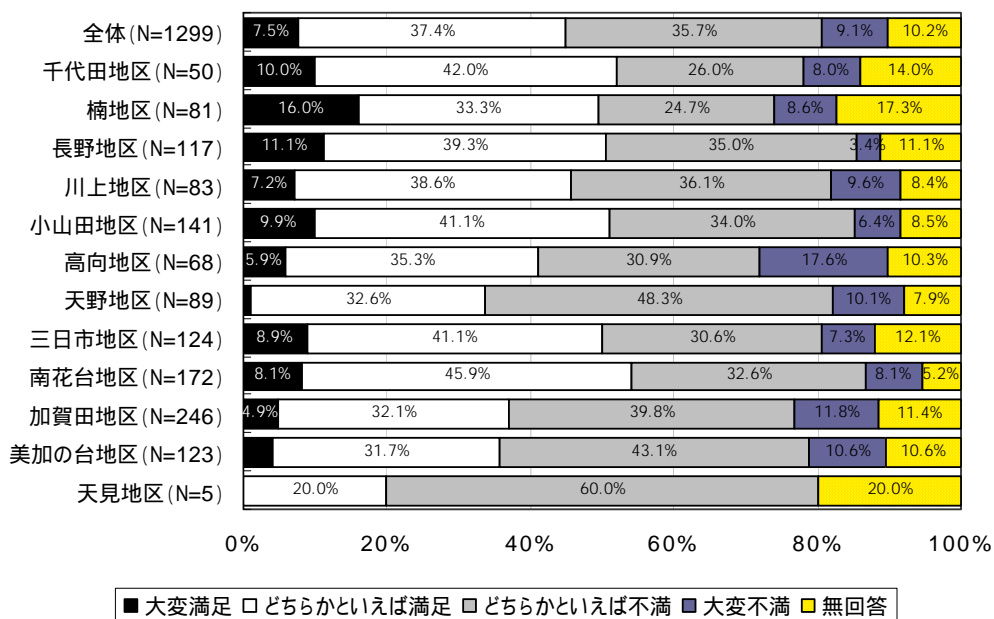


図 3-6-1 バス移動満足度

問 -6-2 バス利用不満理由(現在・1～3位の選択項目)

バスでの移動満足度で「どちらかといえば不満」、「大変不満」とされた方の不満理由は「便数が少ない」(25.1%)が最も多く、次に「利用したい時間帯に便数が少ない」(18.0%)が続く、この二つの便数に関する項目が合計で43.1%と半分近くとなっている。また、「運賃が高い」が13.4%で続いている。

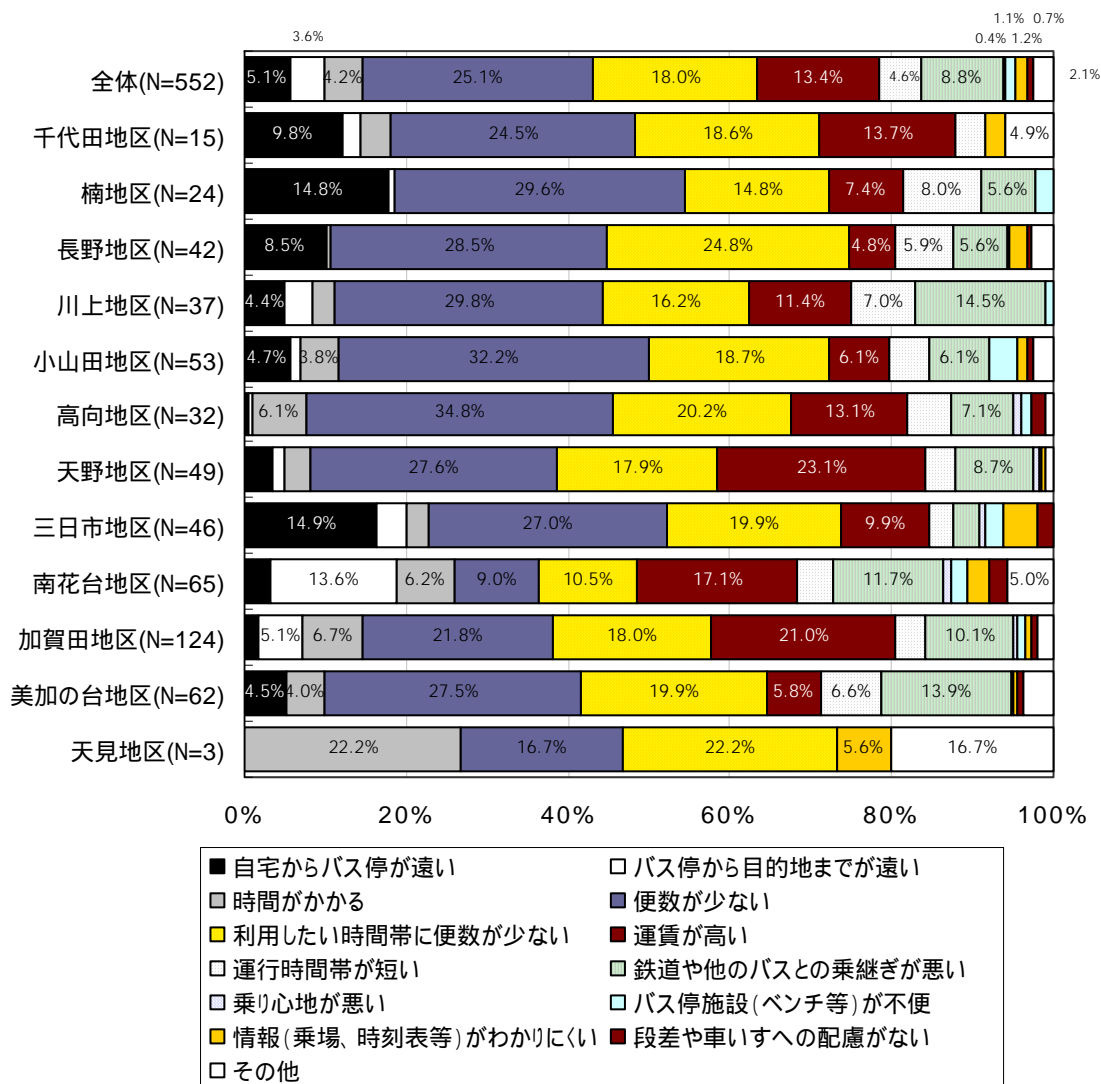


図 3-6-2 バス不満

問 -7 現在バスを利用しない理由

バスを利用しない人の理由は、「自動車を使う」(45.1%)が最も多く、「家の近くにバス停がない」(14.5%)、「駅が近い」(11.8%)と続いている。

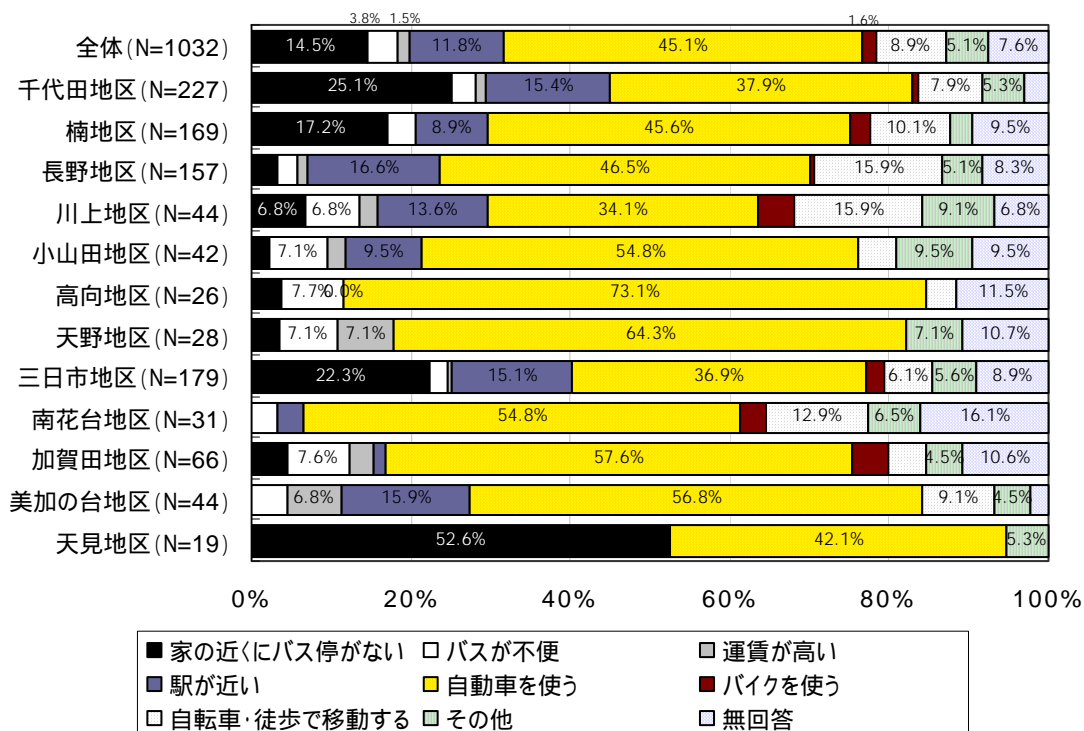


図 3-7 現在バスを利用しない理由

問 -8-1 バス利用意向

バス利用意向については、「バスのサービスが改善された場合バス利用が増えると思う」・「思わない」ともに約 4 割となっている。

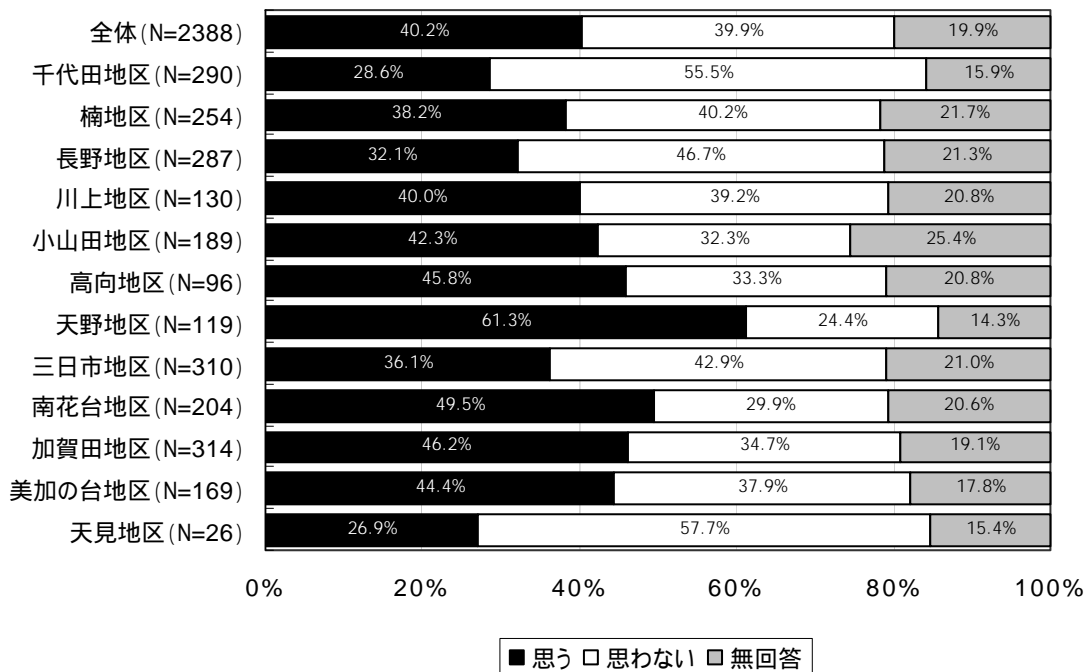


図 3-8-1 バス利用意向

問 -8-2 バス改善点（１～３位の選択項目）

バス利用の改善点は、「１日の便数」（19.1％）「運賃」（16.5％）「運行時間帯」（13.7％）「自宅からバス停までの距離」（11.9％）「運行ルート」（11.5％）と続いており、改善点は多様である。

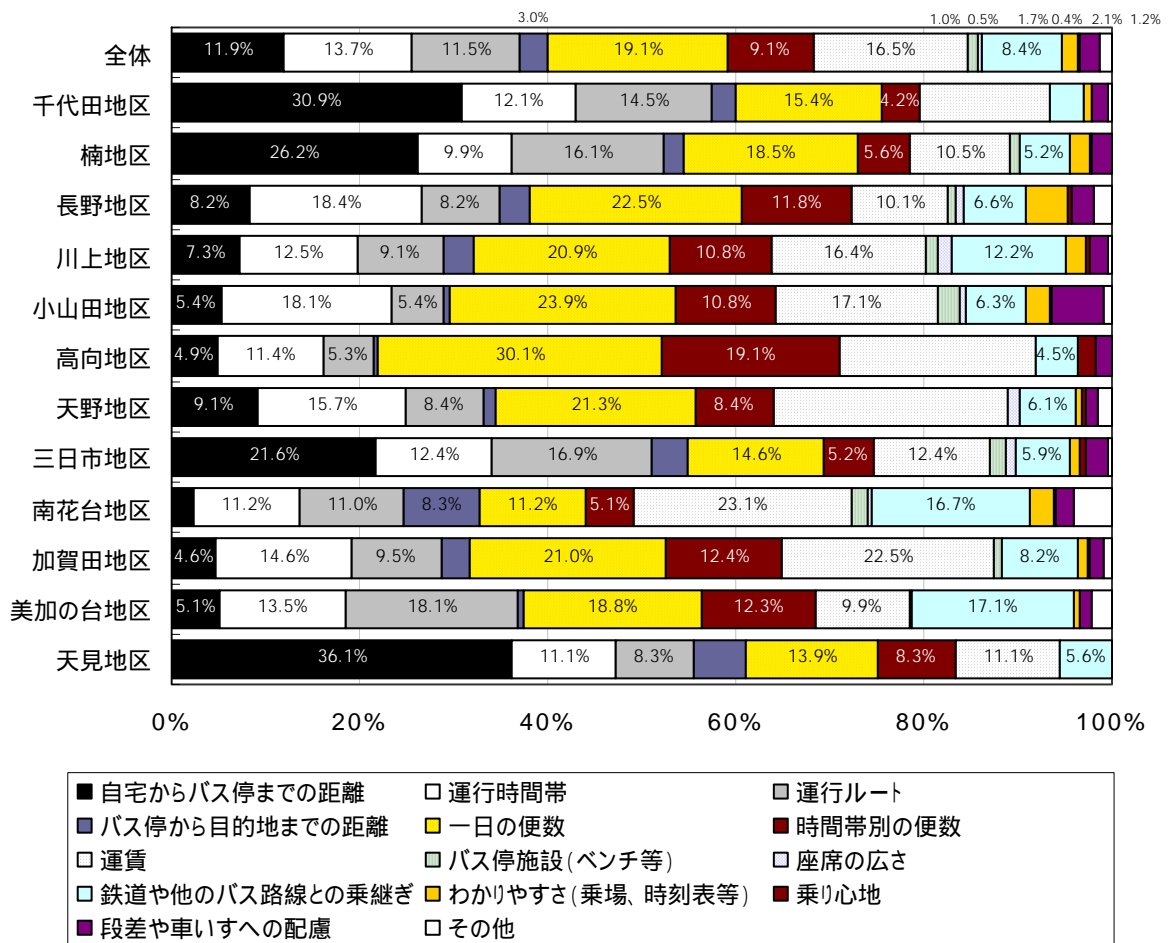


図 3-8-2 バス改善点

問 -8-3 バス利用目的

「買物」(28.9%) が最も多く、「娯楽・レジャー」(19.9%)、「通勤」(17.8%) が続いている。「通院」は 17.7% となっている。

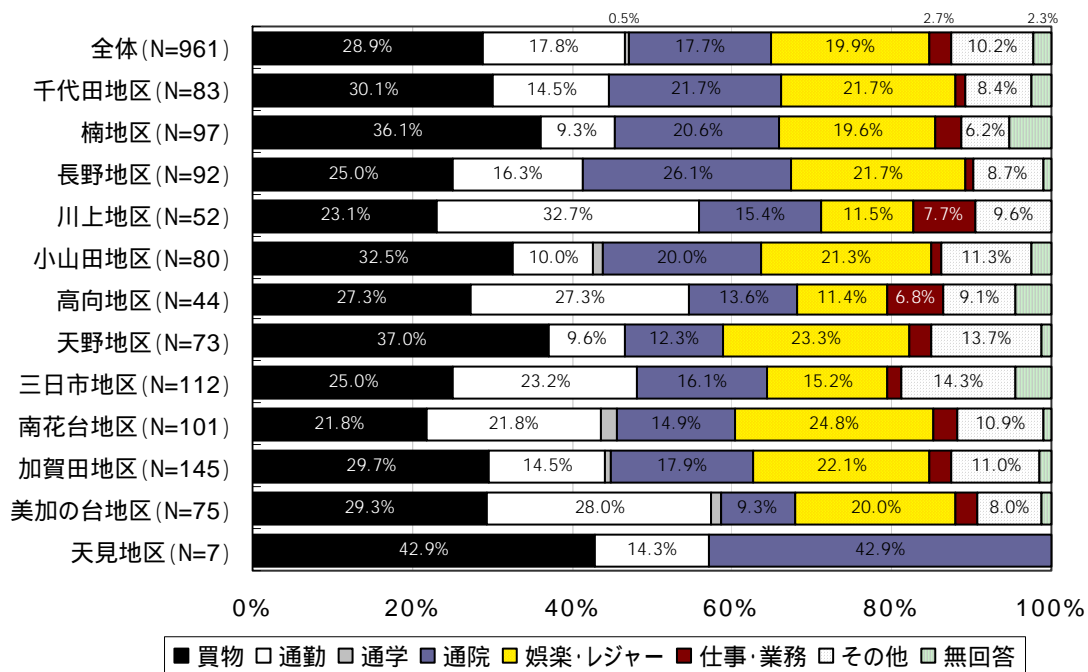


図 3-8-3 利用目的

問 -8-4 希望利用頻度

「週に 1～2 日」(33.9%) が最も多く、「週に 3～4 日」(24.8%)、「月に 1～2 日」(19.0%) 「週に 5 日以上」(15.4%) と続いている。

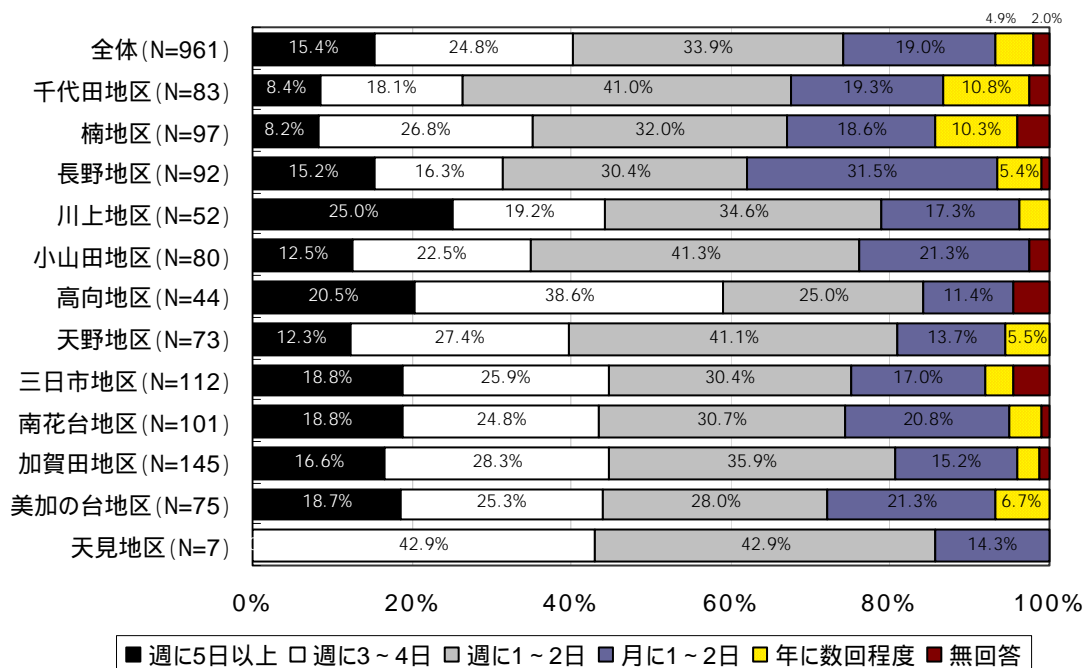


図 3-8-4 希望利用頻度

問 -9-1 費用負担に対する意見

費用負担に関しては、「仕方がない」が50.5%で最も多い。続いて「反対」が20.3%で、「当然だと思う」(15.6%)と回答した人より多い。

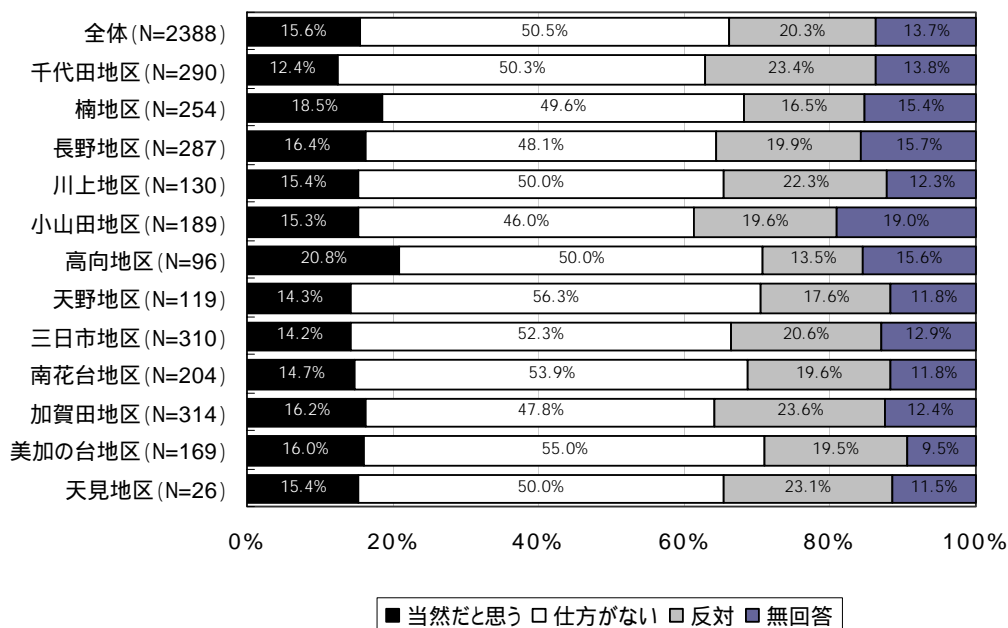


図 3-9-1 費用負担に対する意見

問 -9-2 費用負担額に対する意見

市が経費を負担することについて、「当然だと思う」、「仕方がない」とされた方で、現在の負担額については「妥当な額だと思う」(54.5%)が最も多く、「もう少し負担額を増やしてもいいのでサービスを向上すべき」(16.9%)、「負担額を減らすべき」(14.0%)と続いている。

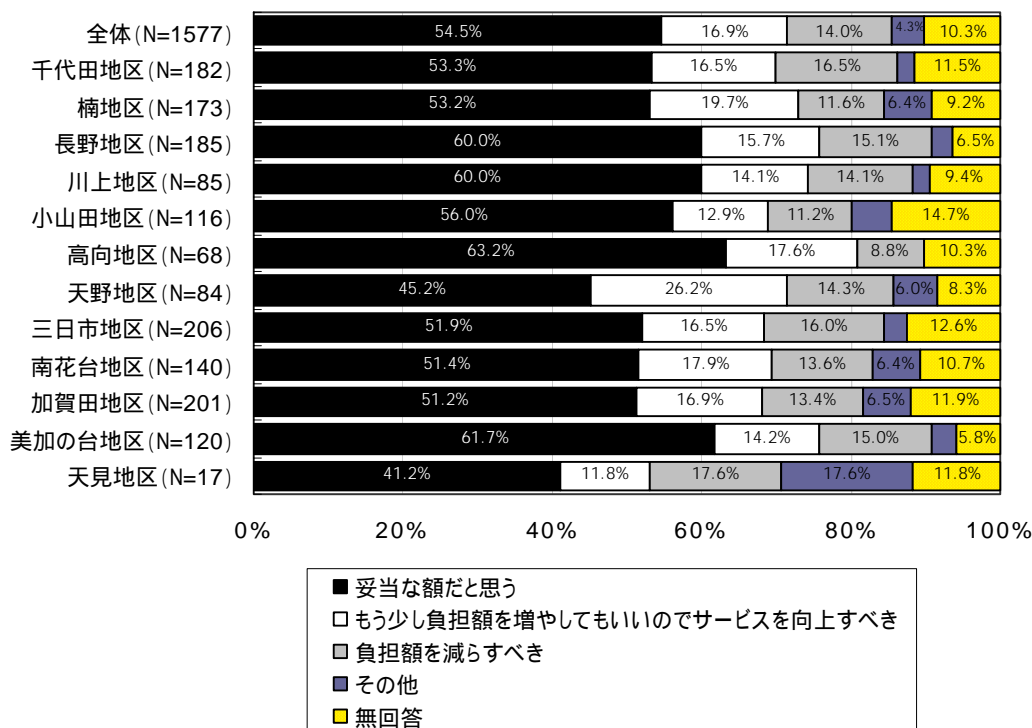


図 3-9-2 費用負担額に対する意見

問 -9-3 支払意思額

市民一人当たりの年間負担経費は、現在の平均額「514 円」(41.8%) が最も多く約半数となっている。また「0 円」が 22.6% となっている。

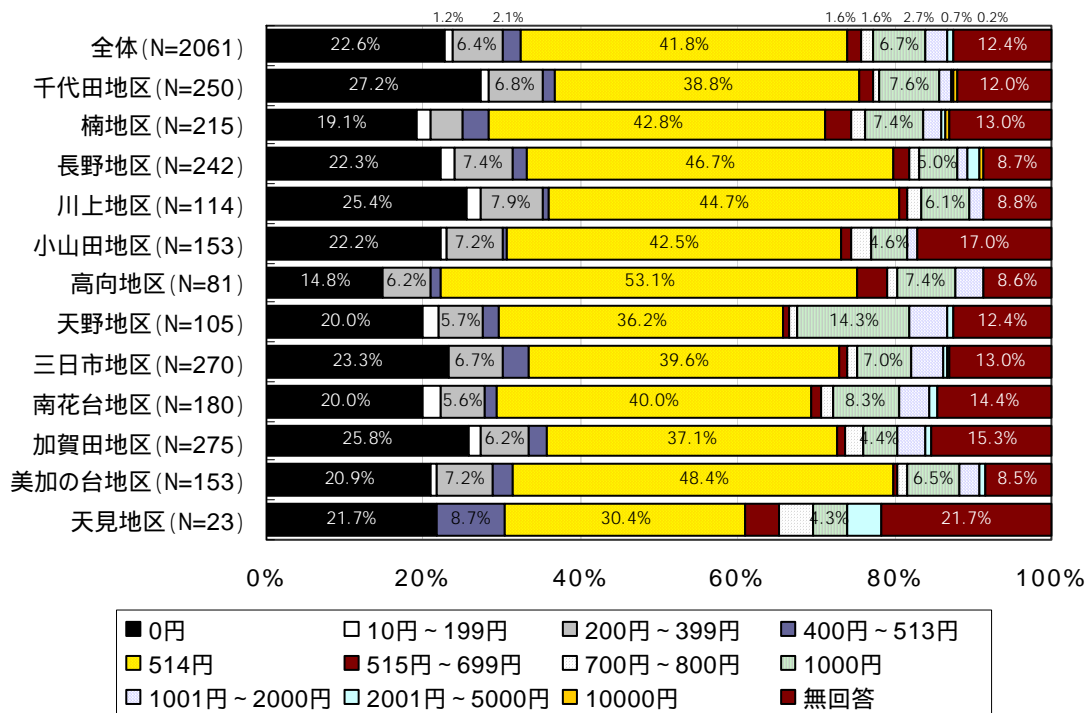


図 3-9-3 支払意思額

問 -10 経費負担反対者の意向

バスに対する経費負担に反対の方の、バスを持続的に運行するための意見としては、「人員削減などの経営努力をする」(25.8%) が最も多く、「バス運賃を値上げする」(19.4%)、「みんなでもう少しバスを乗るようにする」(17.1%) と続いている。

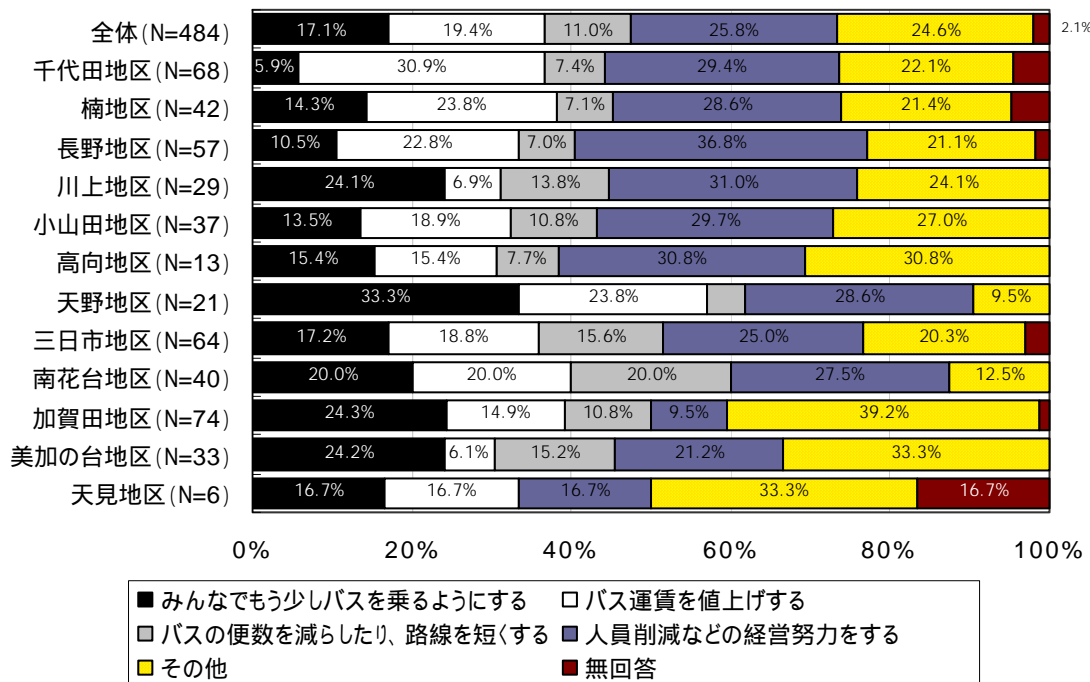


図 3-10 費用負担反対者の意向

[] あなたの将来の外出についておたずねします

問 -1 想定される外出変化の時期

外出変化は、「身体機能が低下してから」(40.5%)が最も多く、次いで「退職してから」(30.2%)となっている。

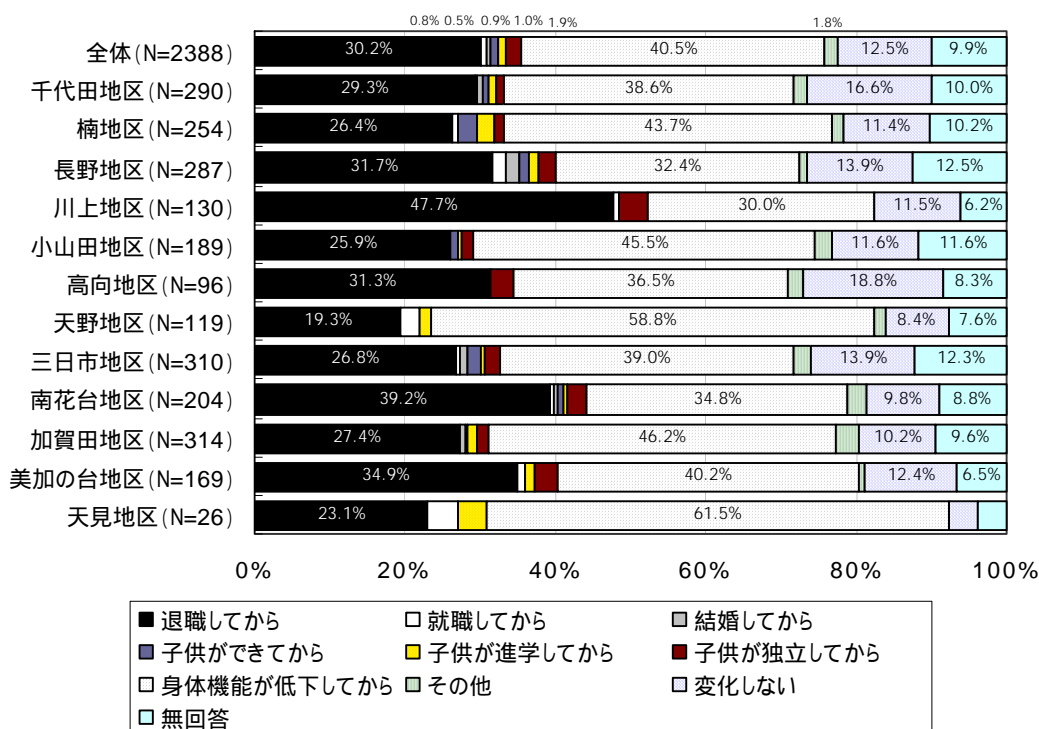


図 4-1 想定される外出変化の時期

問 -2 将来想定される主な外出目的

将来の外出で多くなる外出目的は、「通院」(33.9%)が最も多い。次に「買物」(28.6%)、「娯楽・レジャー」(25.2%)と続いている。

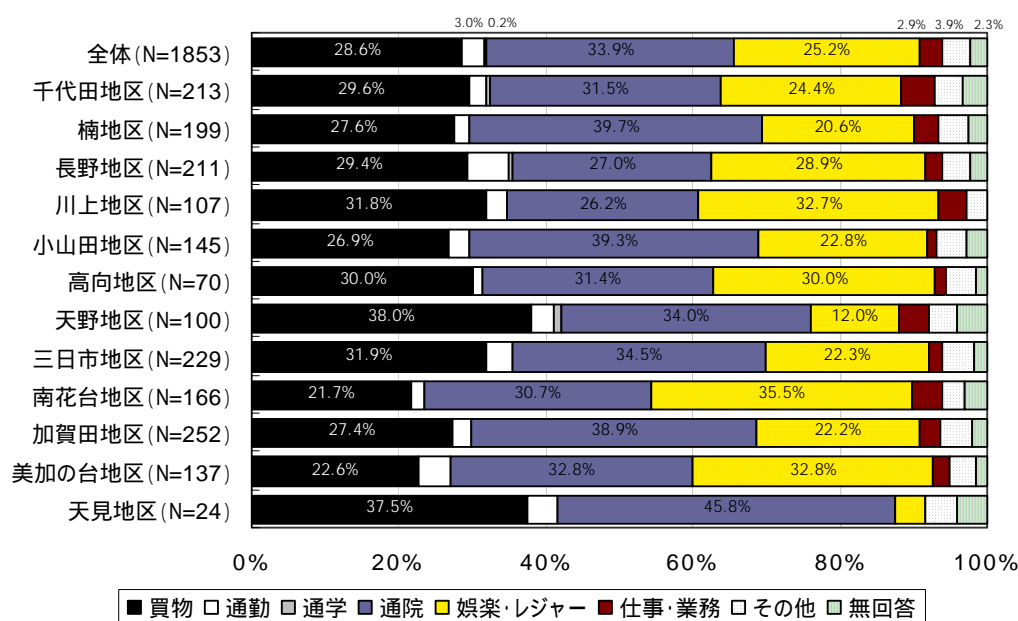


図 4-2 将来の主な外出目的

問 -3 将来想定される主な外出先

「河内長野市内」が 61.0%と最も多く、現在の外出先に比べて河内長野市内の移動が多くなっている。

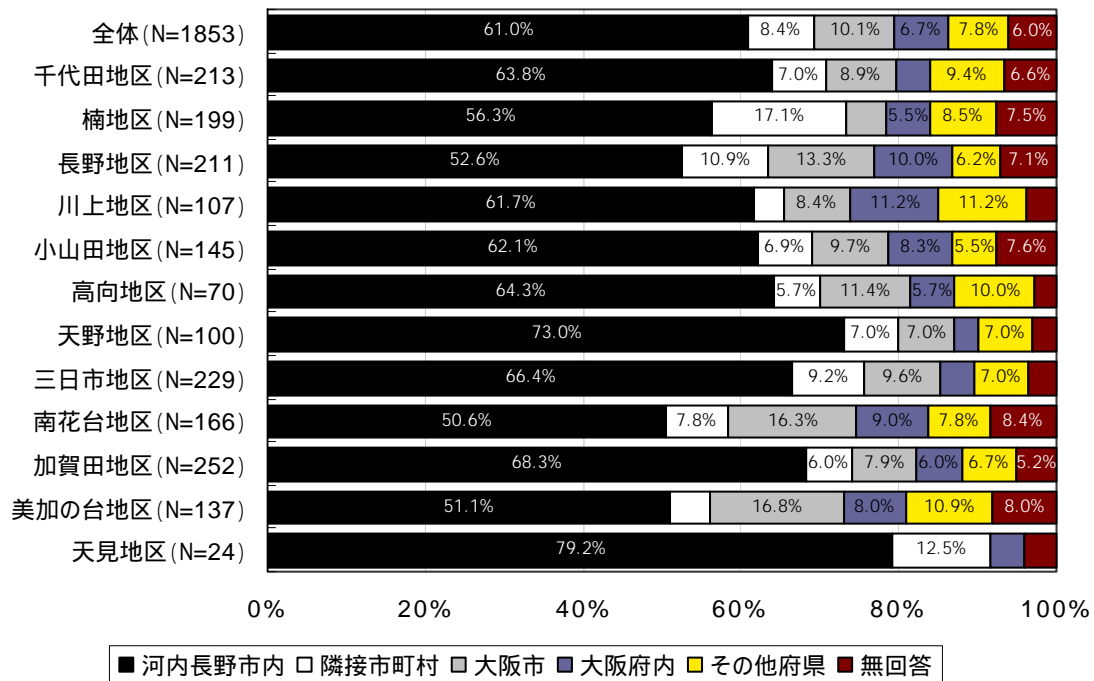


図 4-3 将来の主な外出先

問 -4 将来の外出頻度

外出頻度は「週に 1～2 日」(37.1%)、「月に 1～2 日」(27.1%)で約 6 割を占めている。

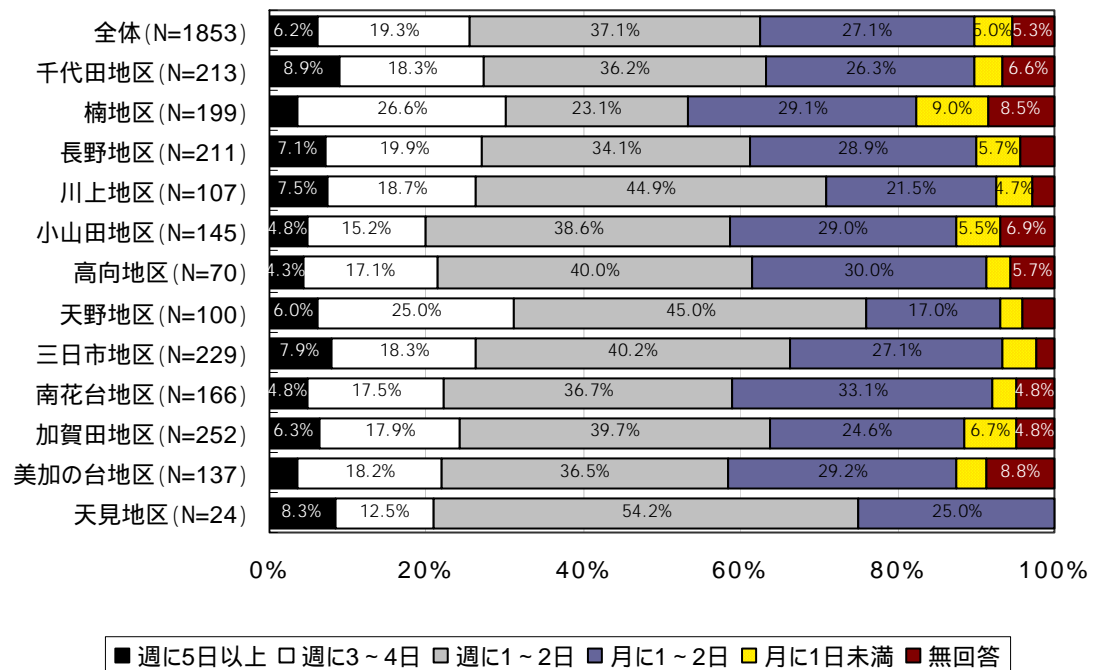


図 4-4 将来の外出頻度

問 -5 将来の外出の交通手段

交通手段は「バス」(27.4%)、「自動車(運転)」(28.0%)が多く、「鉄道」(18.3%)が続いている。「バス」が多いのは外出変化理由が大きく関わっていると考えられる。

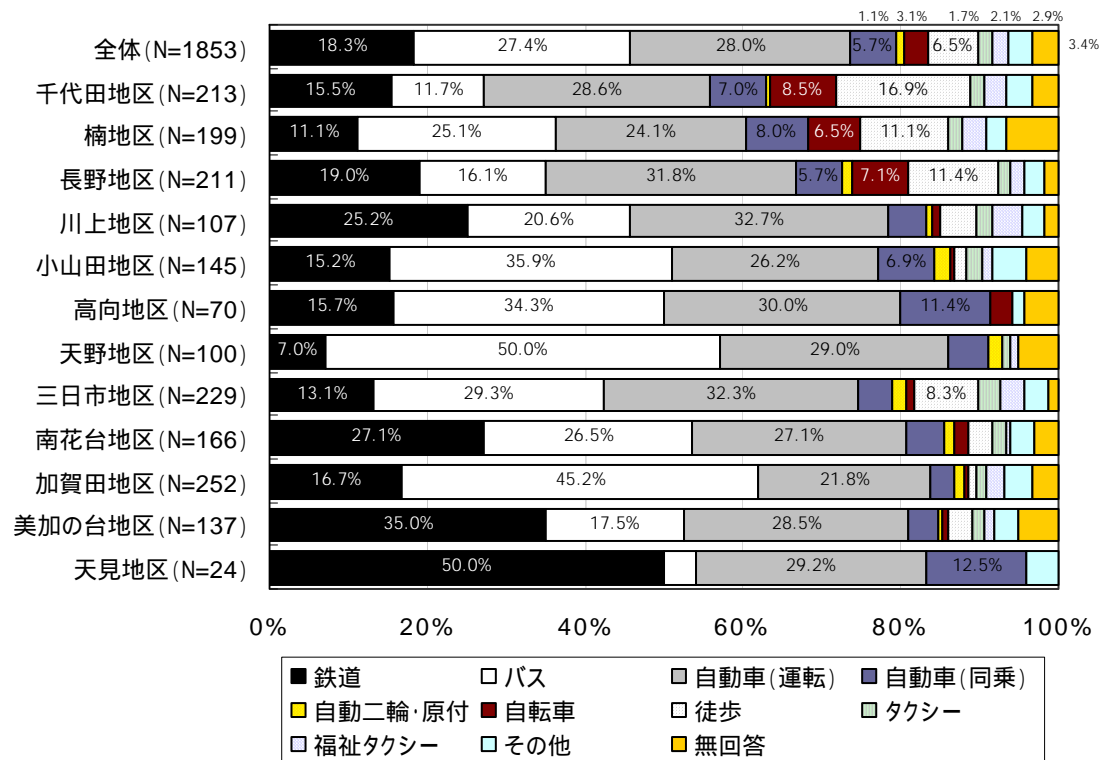


図 4-5 将来の交通手段

[] 日常的な買物についておたずねします

問 -1-1 買物者性別

買物は「女性」(79.8%) が多くを占めている。

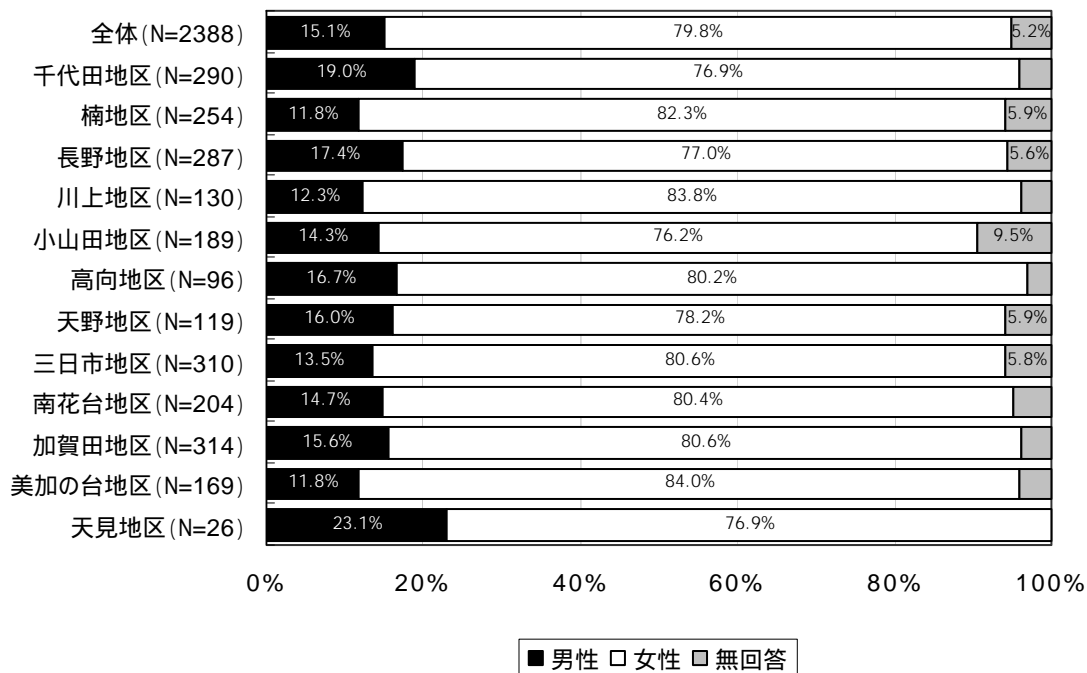


図 5-1-1 買物者性別

問 -1-2 買物者年齢

年齢は「60歳代」(25.5%)、「50歳代」(23.6%) で約半数を占めている。

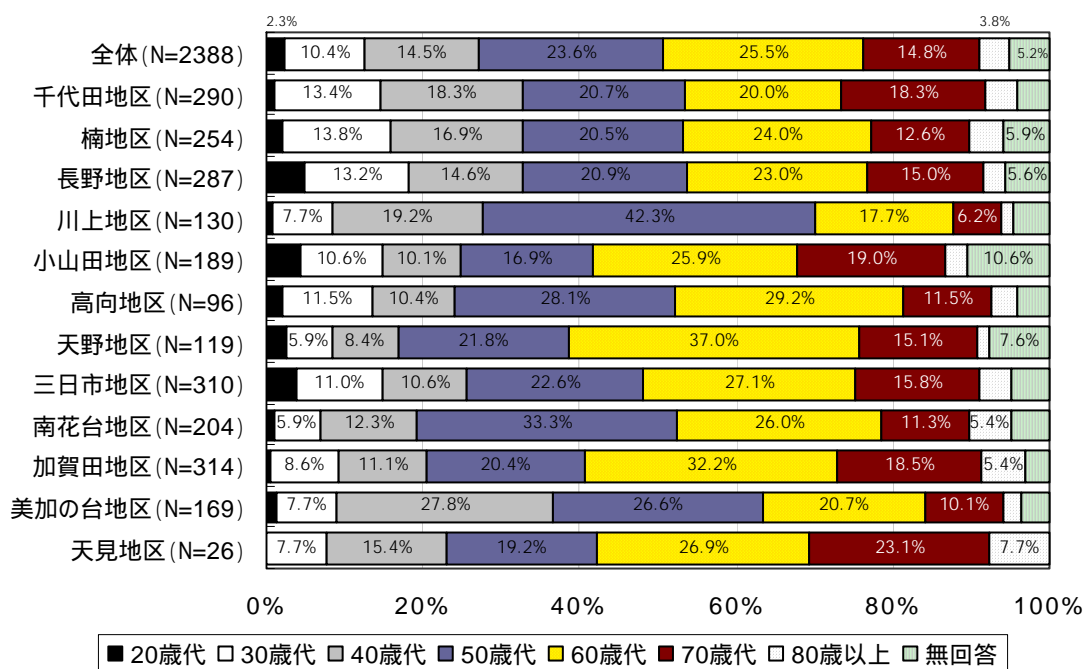


図 5-1-2 買物者年齢

問 -1-3 買物者居住年数

居住年数は、「10年～19年」(24.2%)、「30年～49年」(22.0%)、「20年～29年」(21.9%)と続いている。

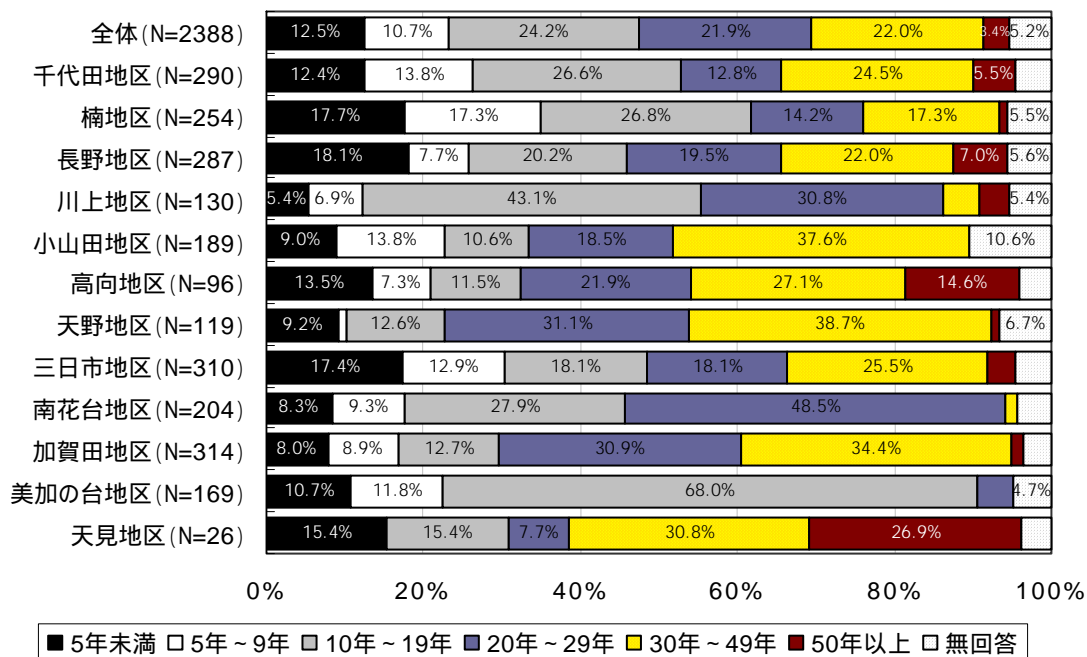


図 5-1-3 買物者居住年数

問 -2 買物方法(現在)

買物方法は、「外出して買物をする」(88.7%)がほとんどであった。

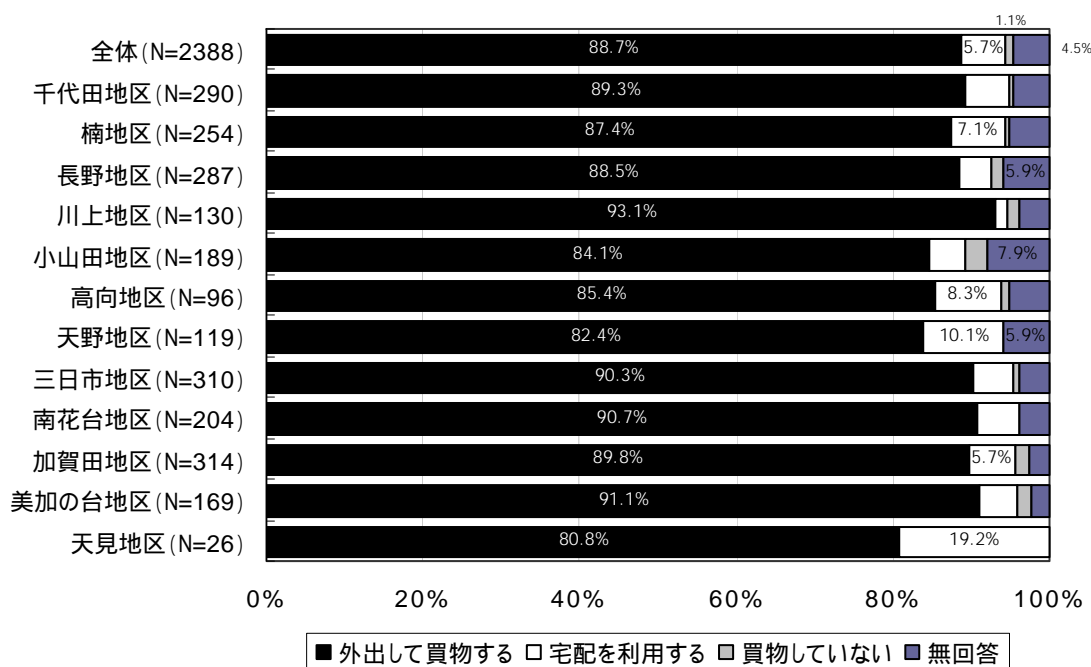


図 5-2 買物方法

問 -3 買物場所（現在）

買物場所としては、「近所のスーパー」(58.0%) が最も多く、「少し離れたスーパー」(31.0%) へ買物に行く人も多く、合わせると約 9 割となる。

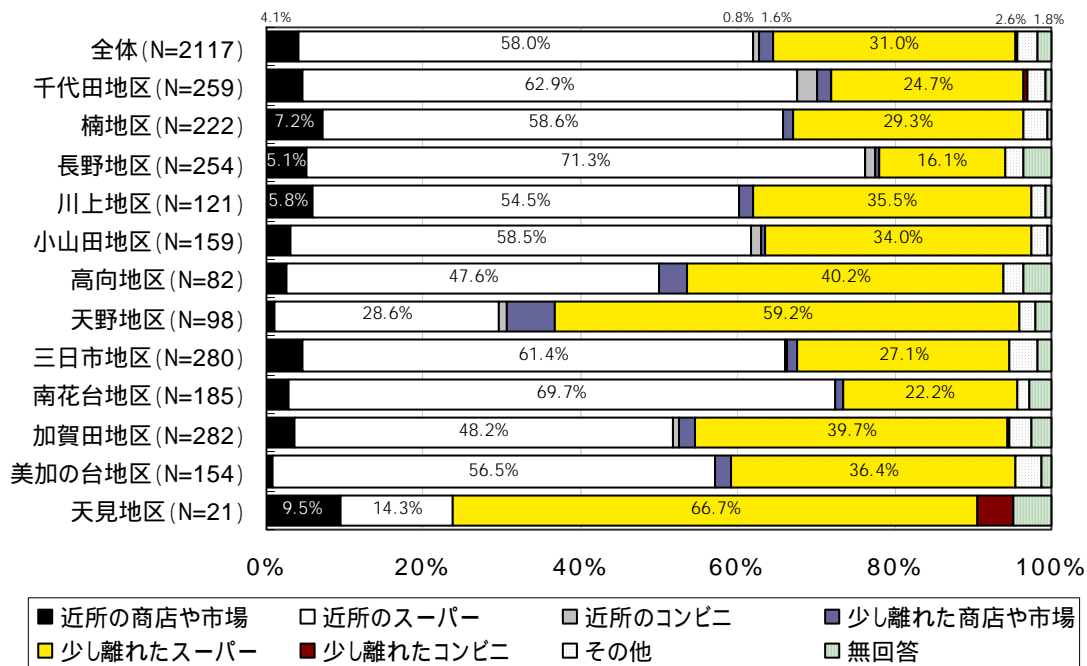


図 5-3 買物場所

問 -4 買物頻度（現在）

「週に 3～4 日」(37.9%) が最も多く、「週に 1～2 日」(37.3%) 「週に 5 日以上」(15.5%) と続く。週に 1～4 日が一般的であることがわかった。

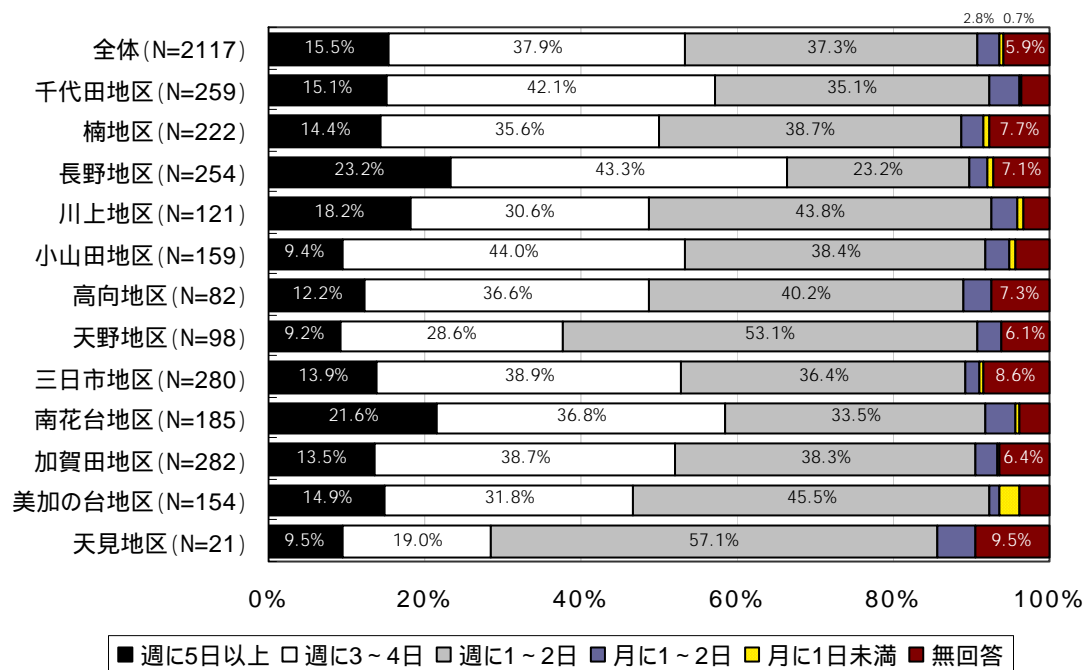


図 5-4 買物頻度

問 -5 買物交通手段（現在）

交通手段としては、「自動車(運転)」(44.4%) が最も多く、また、「徒歩」(18.3%) で買物する人も多かった。「バス」(5.2%) などの公共交通の利用は少ない。

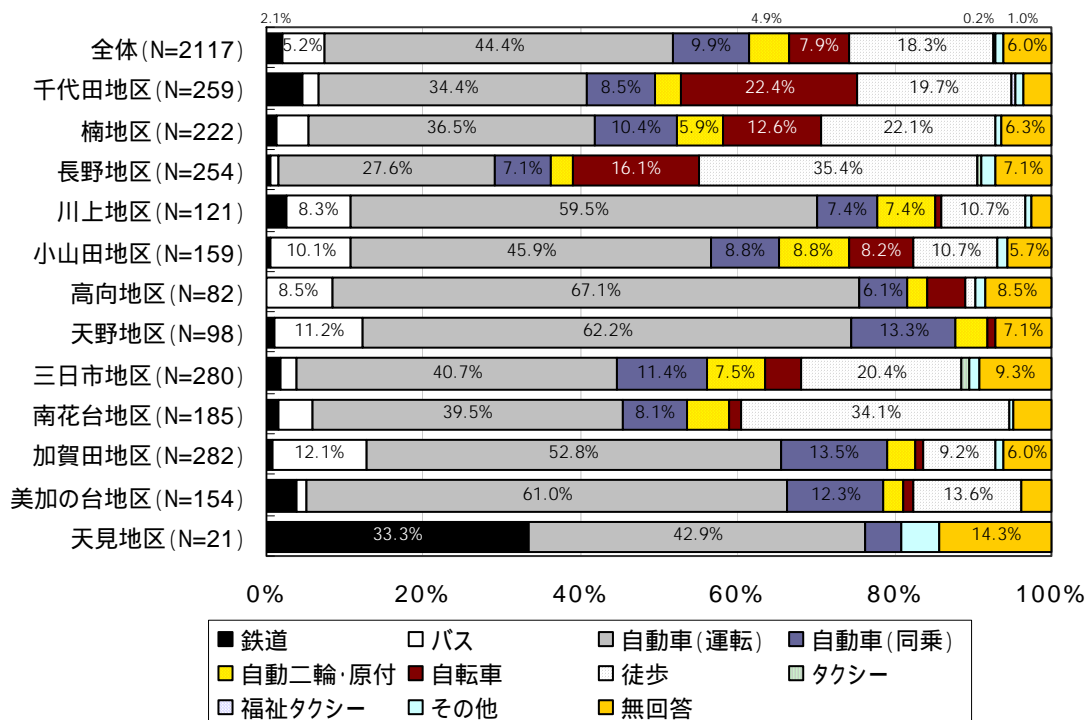


図 5-5 買物交通手段

問 -6-1 買物移動満足度(現在)

買物のための移動満足度は、「どちらかといえば満足」(60.2%)、「大変満足」(15.6%) で7割以上を占め、他の移動満足度に比べ満足している傾向にある。

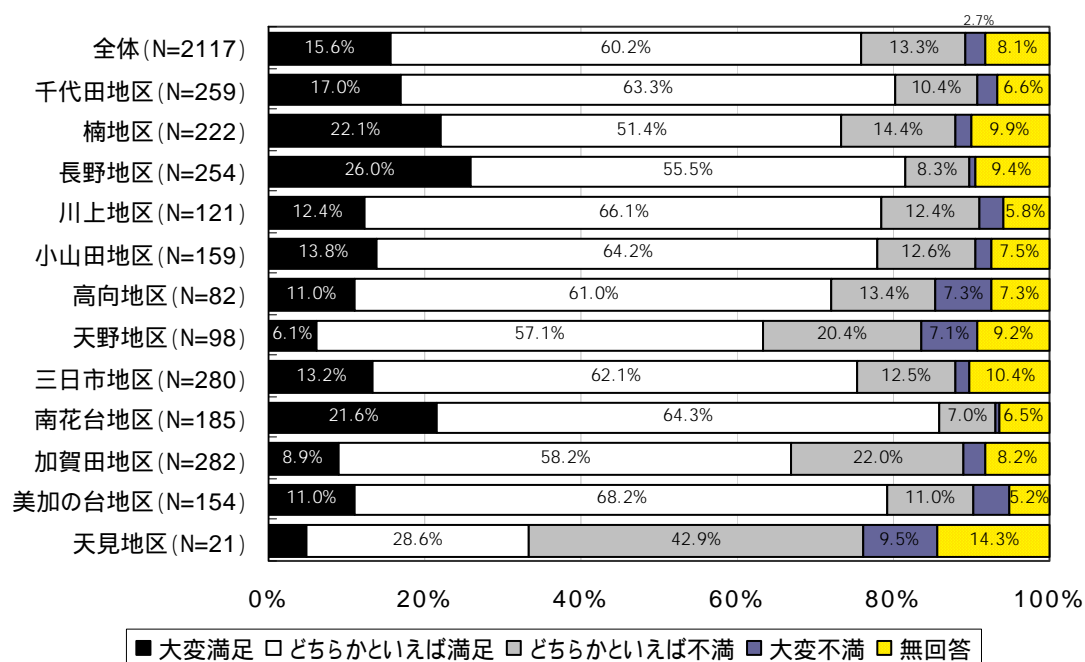


図 5-6-1 買物移動満足度

問 -6-2 買物の移動不満理由(現在・1位～3位選択項目)

買物の移動不満では、「時間がかかる」(17.3%)が多く、次いで、「交通費がかかる」(15.5%)と続いている。理由が分散しており個人によって買物の移動に関する考えが異なっていることがわかる。

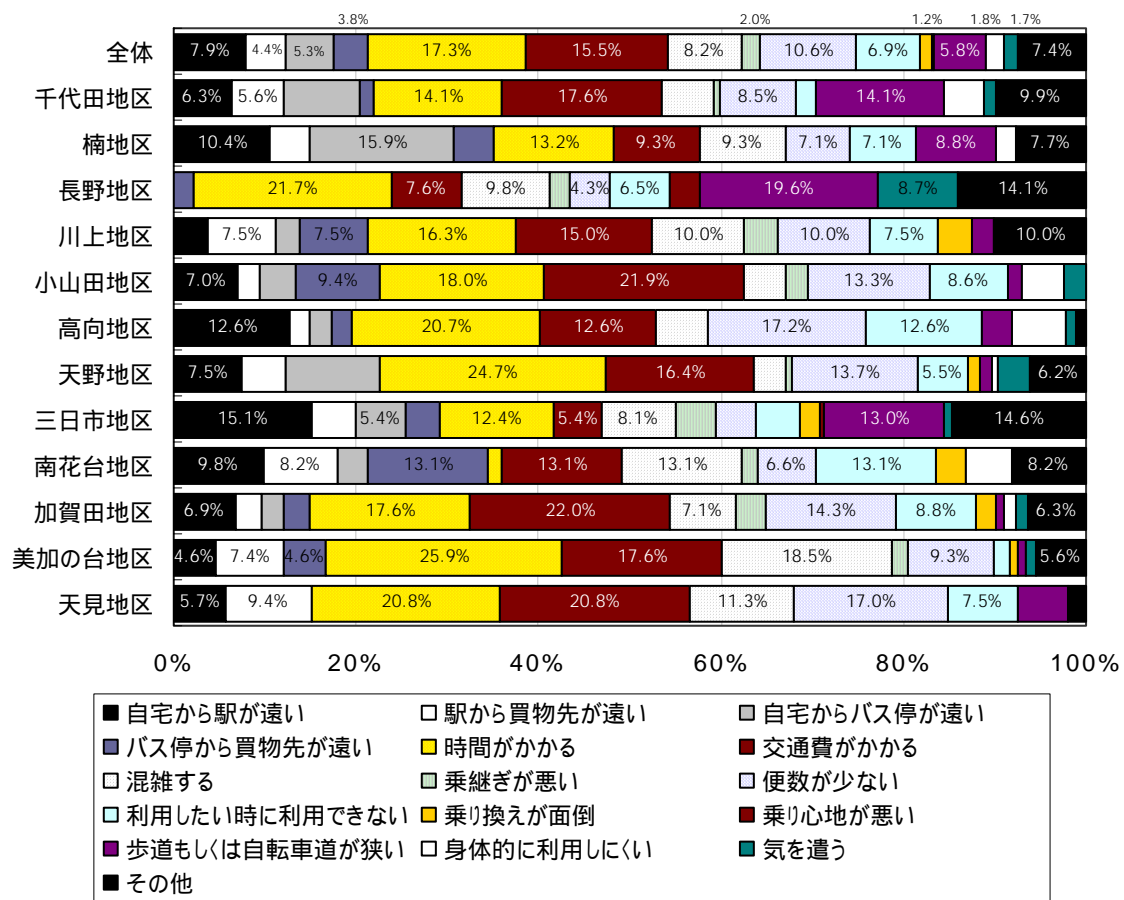


図 5-6-2 買物不満

問 -7-1 買物でのバス利用意向（現在）

「思わない」が 50.5% と多い。

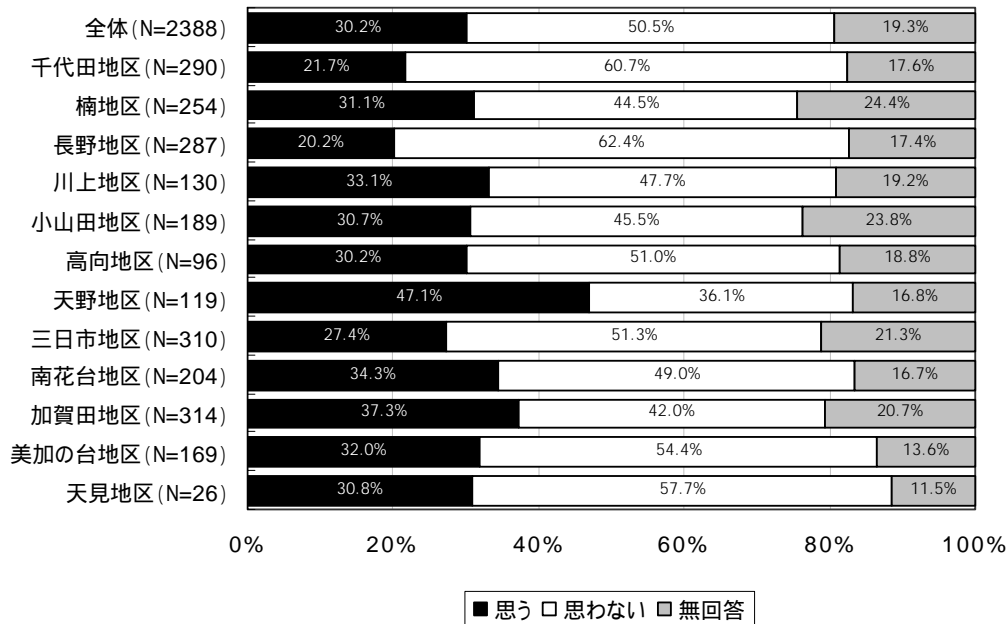


図 5-7-1 買物バス利用意向

問 -7-2 買物でのバス利用のための改善点（1 位～3 位選択項目）

「一日の便数」(19.1%)が最も多く、次に「運賃」(18.2%)、「運行ルート」(14.7%)、「自宅からバス停までの距離」(12.5%)、「運行時間帯」(11.3%)と続いている。

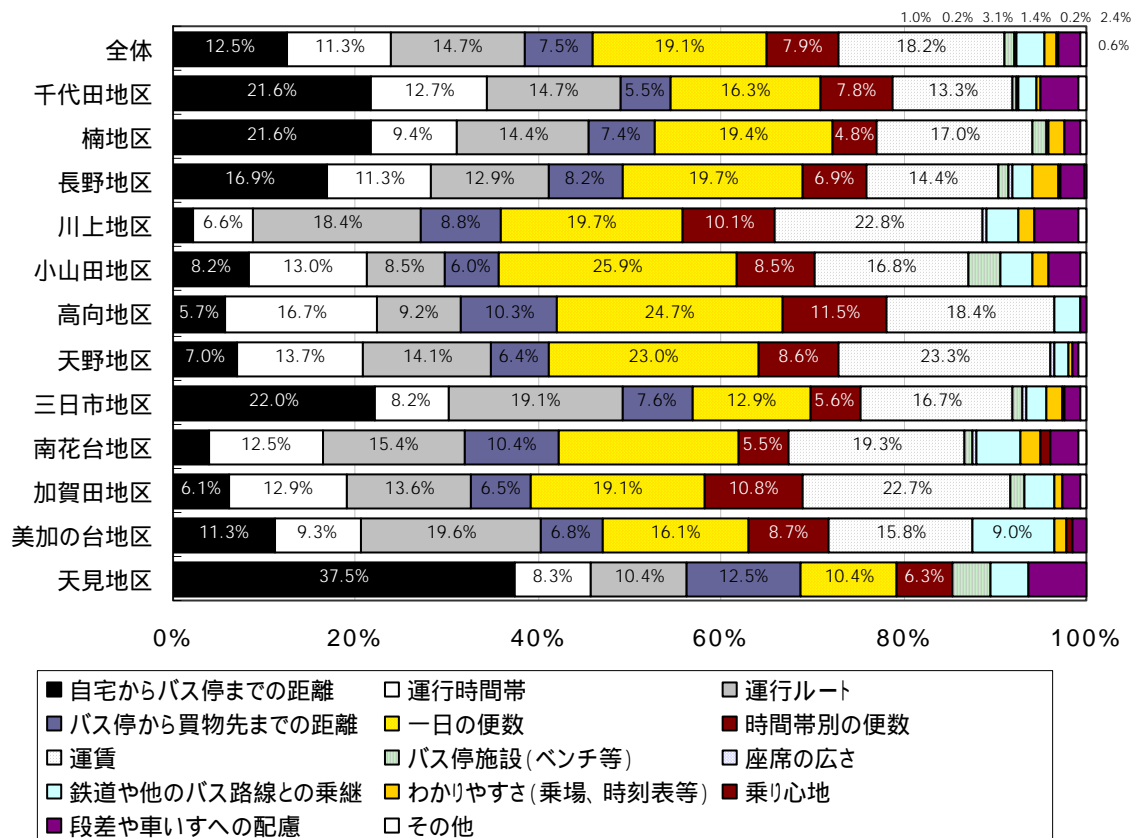


図 5-7-2 買物バス改善点

3. 河内長野市の福祉交通を考えるための市民アンケート調査結果

問 1-1 困難者性別

「女性」が 48.6% と多い。

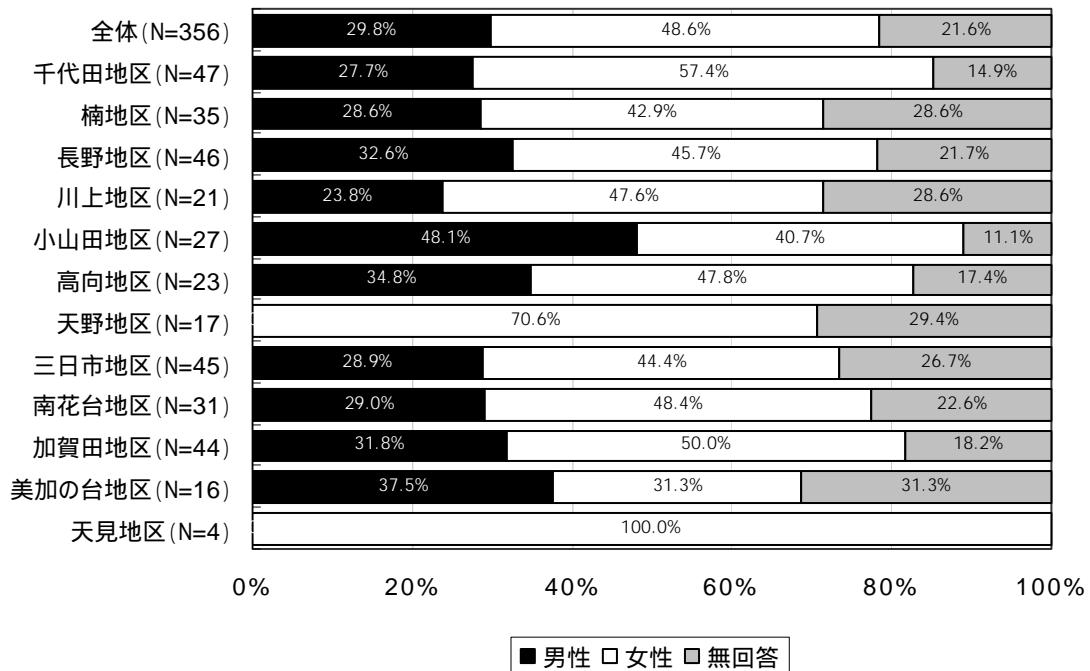


図 1-1 性別

問 1-2 困難者年齢

「70 歳代」(18.5%) と「80 歳代」(23.3%) が多く 60 才代以上で 8 割近くを占めている。

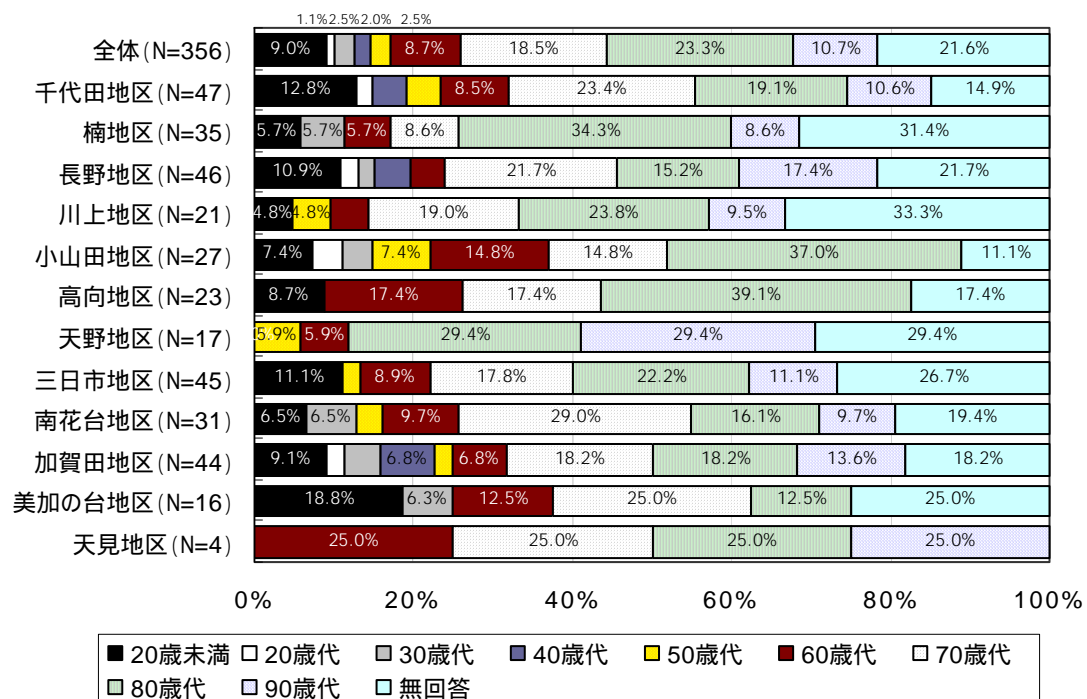


図 1-2 年齢

問 2 主な外出の方法

「家族などの運転による自家用車を利用している」(45.5%)が最も多く、家族の支援での外出方法を選択している人が多い。「介護タクシー・福祉タクシーを利用している」(8.4%)は「家族などの介護・介助により既存のバス・一般タクシーを利用している」(6.2%)より多い。

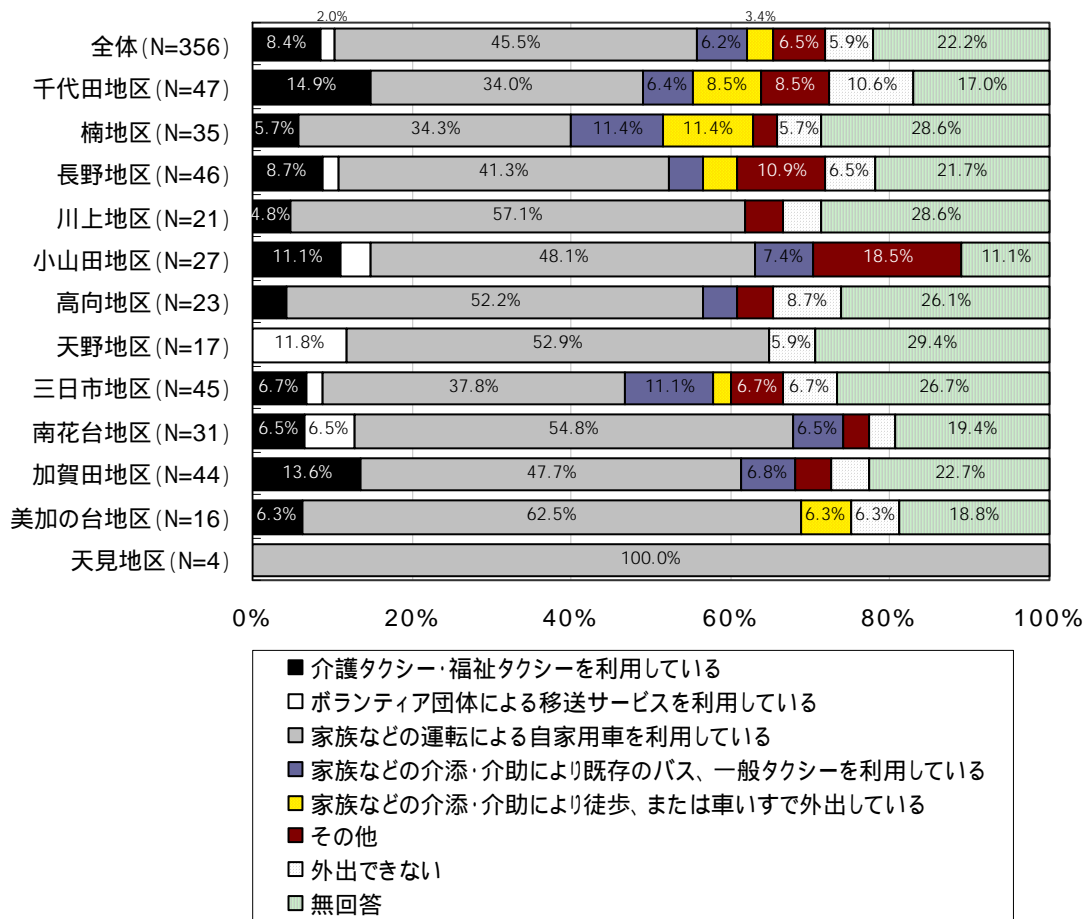


図 2 外出方法

問 3 外出目的

「通院」(60.5%) が最も多く半数以上を占めている。続いて「買物」(18.4%) となっている。

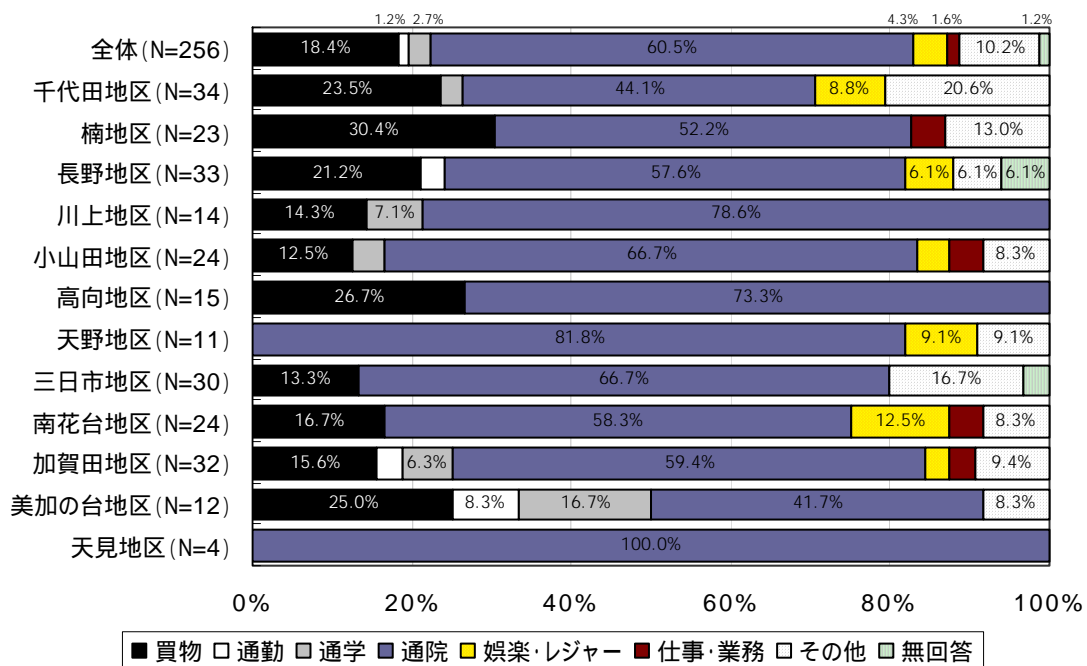


図 3 外出目的

問 4 外出先

外出先は「河内長野市内」(77.3%) が最も多い。

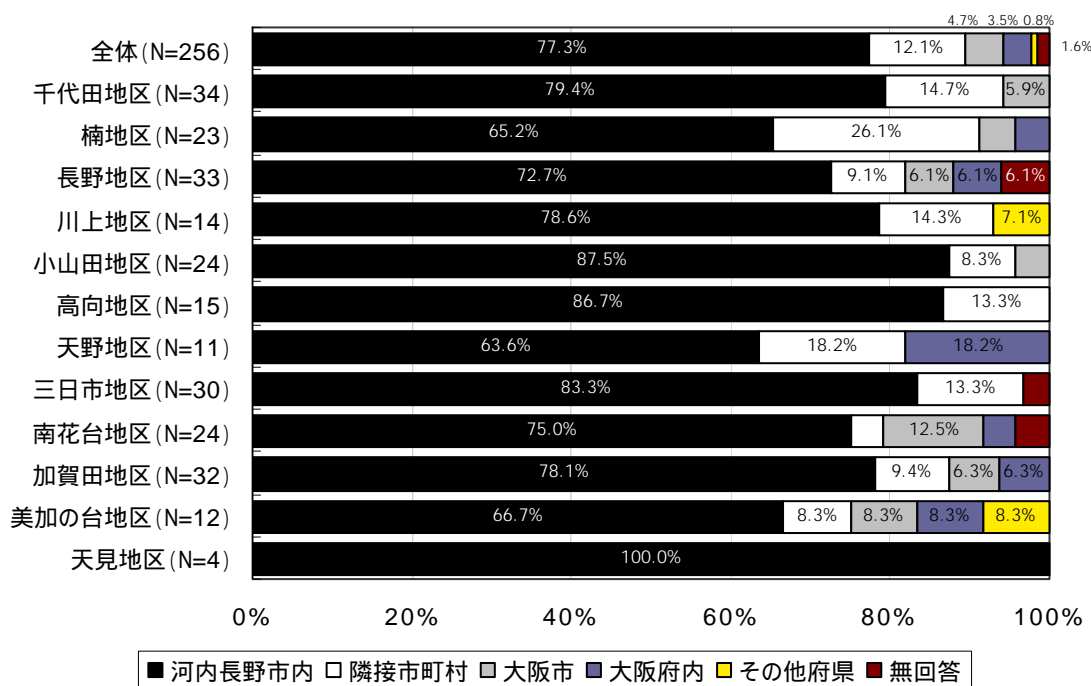


図 4 外出先

問 5 外出頻度

「月に1～2日」(44.9%)が最も多く、「週に1～2日」(19.1%)が続いている。外出頻度は比較的少ないが「週に5日以上」は5.9%となっている。

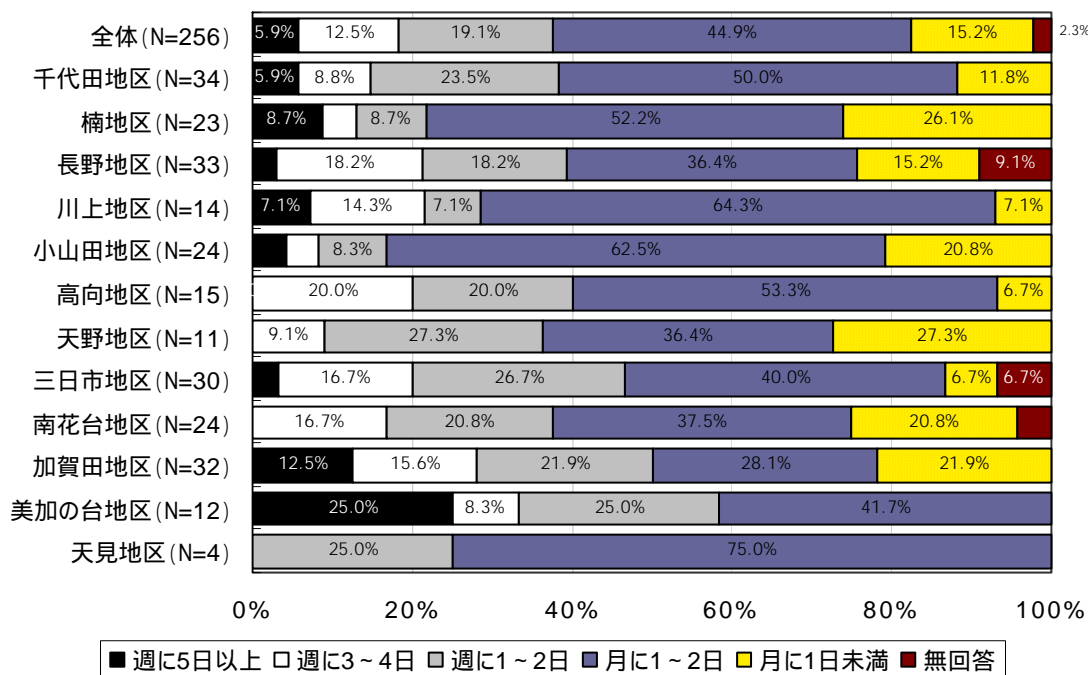


図 5 外出頻度

問 6 移動満足度

移動満足度は、「どちらかといえば満足」(54.7%)、「大変満足」(5.5%)が約6割を占めている。地区別では三日市地区、美加の台地区、天野地区で不満が多い。

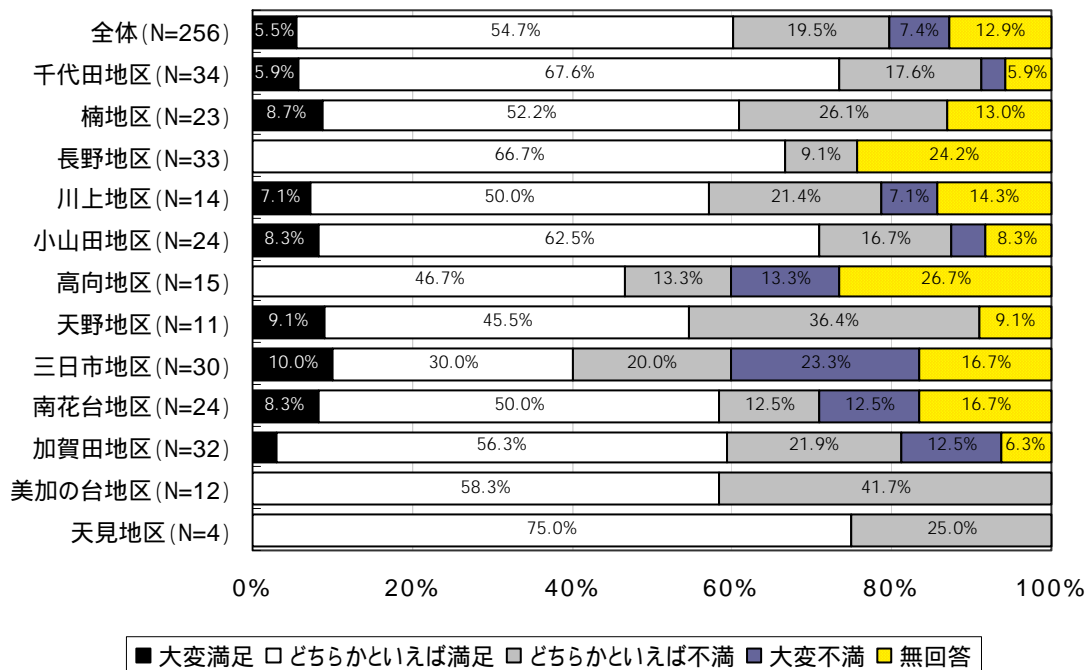


図 6 移動満足度

○ どんな移動手段があればいいと思いますか。(福祉交通アンケート)
どのようにとは回答できません。現状では通院は福祉タクシーを利用させていただいていますし、買物は狭山 100 円バスで
平成 18 年度特別控除が廃止されて高齢者の市民税が増えた。7 万円が 14 万円(小額納税者は 4 から 5 倍とのこと)その増加財源は何に使われているのか明らかにしてほしい。たとえばバス電車の 5000 円補助を倍にするとか、市報で明確に返事してほしい。
道路規制で早朝からタクシーが来てもらえないし、せめて一日に定期的な時間バスがあかしあ台に来ると貴望ヶ丘まで急な坂を上がらなくて私も外に出やすくなると思う。足が痛いから平坦な道もあり歩けなくて坂を上がるのは至難の業です。今は家族に早朝仕事前に迎えに来てもらって病院で受診時間を待ちます。肢体障害者は体の移動が大変。
同居はしていないが 90 歳以上の親が 3 人居るので病院に連れて行くには大変です。タクシーを呼んでも時間がかかるときもありますので、車いすを押していく方が良いのですが、坂道はだんだん体力的に無理になってきています。本人が家に居るときは送ってもらえるのですが
ひざや足が悪いため、また歩道の道路事情が悪く(国道に横断歩道が無い、歩道は無慈悲に段差がやたらつけられているなど)最寄り駅までの歩行は不可能。自宅が高台にあり、バスの運行ルートの対象とならないため、自力で外出は不可能。上記の理由から、自宅の自動車を利用せず外出するにはその都度タクシーに頼るしかない。健康な者も最寄り駅までの歩行が困難になって来ているのに非常に不満をもっている。
現在車の乗り降りも自分ではしにくくほとんど外出しない。ディサービス・ショートステイぐらいのものです。

アンケート票（将来の公共交通を考えるための市民アンケート調査）

表紙（アンケート調査ご協力のお願い）

- 将来の公共交通を考えるための市民アンケート調査 -

ご協力のお願い

市民のみなさまには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をたまわりありがとうございます。
さて、近年、全国的に高齢化の進展や生活スタイルの変化に対応するための公共交通サービスのあり方について盛んに議論がなされています。本市でも平成18年度を初年度とする第4次総合計画において、「だれもが円滑に移動できる道路や施設の質的な充実と公共交通ネットワークの確立」を重点施策の一つとして位置づけており、現在、将来のより良い公共交通ネットワークを考えるため、大阪市立大学との共同研究を実施しております。

本調査は、この取り組みのひとつとして実施するものであり、みなさまが本市にお住まいになったときから現在までの生活や交通行動の変化、その時々々の交通サービスへの評価についておたずねし、本市の将来の公共交通を考える大切な資料にしたいと考えております。なお、アンケートにご記入いただきました内容につきましては、すべて統計的に処理いたしますので、回答された方にご迷惑をおかけすることは決してありません。

みなさまには大変お忙しいところ誠に恐縮ではありますが、本調査の趣旨をご理解いただき、以下のアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

2007年 1月

河内長野市長



調査についてのお問い合わせ先

河内長野市 都市建設部 道路交通室 交通政策課
TEL：0721-53-1111（内線 509）

河内長野市シンボルキャラクター モックル

同封しているもの

- ・ 将来の公共交通を考えるための市民アンケート調査ご協力のお願い（この用紙）
- ・ 【調査票】 河内長野市の公共交通を考えるための市民アンケート調査
- ・ 【調査票】 河内長野市の福祉交通を考えるための市民アンケート調査
- ・ 返信用封筒

アンケートご記入にあたってのお願い

- ・ 【調査票】 は、あなたがお答えください。（本人による記入が困難な場合は代筆可。）
- ・ 【調査票】 は、一人で外出することが困難な方がご家族（あなたを含む）の中におられる場合にのみ、その方のことについてお答えください。なお、二人以上おられる場合はより困難な方のことについてお答えください。（本人による記入が困難な場合は代筆可。）
- ・ アンケート回答欄で「その他」を選ばれた場合は、番号を選択した上で具体的な内容についてもご記入ください。

回収方法について

- ・ 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かずに平成19年 1月16日（火）までに郵便ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

河内長野市の公共交通を考えるための市民アンケート調査

調査票

[] あなたのことにあわせておたずねします

問 - 1 お住まいはどちらですか。 河内長野市 [] 町 [] 丁目

問 - 2 現在の居住地に住まれてどのくらい経ちますか。 [] 年

問 - 3 同居されているご家族(あなたを含む)について、[] に人数をご記入ください。

18歳未満の方 [] 人 18～64歳の方 [] 人 65歳以上の方 [] 人

問 - 4 ご家族(あなたを含む)に、おひとりでは外出が難しい方がおられますか。該当する番号をで囲んでください。また、おられる場合は [] に人数もご記入ください。

1. いる [] 人 2. いない



「1」と答えられた方は、
【調査票】にもご回答ください。

問 - 5 現在の居住地を選択するときに優先的に考慮した条件は何ですか。最も重要と思われるものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 鉄道の便利さ	2. バスの便利さ	3. 自動車の便利さ
4. 買物の便利さ	5. 通院の便利さ	6. 防犯・防災
7. 教育環境	8. 自然の豊かさ	9. 街並み・景観
10. 住宅環境(価格や広さ等)	11. 親が住んでいたため	12. その他(具体的に:)

問 - 6 現在お住まいの住居について該当する番号を で囲んでください。

1. 持ち家(一戸建て) 2. 持ち家(アパート・マンション) 3. 社宅・官舎
4. 借家(一戸建て) 5. 借家(アパート・マンション) 6. その他(具体的に:)

問 - 7 今後の定住意向についてどうお考えですか。該当する番号を で囲んでください。

1. 定住したい 2. 転居したい



転居したいと答えられた方におたずねします。今後、転居するときに優先的に考慮する条件は何ですか。最も重要と思われるものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

1 番 目	2 番 目	3 番 目
1. 鉄道の便利さ	2. バスの便利さ	3. 自動車の便利さ
4. 買物の便利さ	5. 通院の便利さ	6. 防犯・防災
7. 教育環境	8. 自然の豊かさ	9. 街並み・景観
10. 住宅環境(価格や広さ等)	11. その他(具体的に:)	

問 - 8 性別

1. 男性 2. 女性

居住当初の記入について

現在の居住地に住み始めた頃のあなたご自身のことについてご記入ください。

ただし、居住し始めた時の年齢が16歳未満の人は、「20歳の時」のことについてご記入ください。

現在の記入について

現在のあなたご自身のことについてご記入ください。

居住当初と変わらない項目についてもご記入ください。



問 - 9 年齢

居住当初	歳	現在	歳
------	---	----	---

問 - 10 職業

居住当初	(番号)	その他は具体的に)	現在	(番号)	その他は具体的に)
1. 農林漁業	2. 自営業	3. 会社員・公務員	4. 学生		
5. 家事	6. パート・アルバイト	7. 無職	8. その他		

問 - 11 自動車やバイク（原付も含む）の保有について、該当する番号を全てご記入ください。

居住当初		現在	
1. 運転できる車がある	2. 同乗できる車がある	3. 運転できるバイクがある	
4. 同乗できるバイクがある	5. 車・バイクともにない		

[] あなたの主な外出についておたずねします

居住当初の記入について

現在の居住地に住み始めた頃に最も多かった外出についてご記入ください。
ただし、居住し始めた時の年齢が16歳未満の人は、「20歳の時」のことについてご記入ください。

現在の記入について

現在最も多い外出についてご記入ください。
居住当初と変わらない項目についてもご記入ください。

問 - 1 主な外出目的について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	(番号)	(その他は具体的に)	現在	(番号)	(その他は具体的に)
1. 買物 2. 通勤 3. 通学 4. 通院 5. 娯楽・レジャー 6. 仕事・業務 7. その他					

問 - 2 その主な外出先はどこですか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
また、1.または2.を選択された場合は、その具体的な場所についてもご記入ください。
(例. 一丁目、駅前、病院、スーパー河内長野店 など)

居住当初	(番号)	(具体的な場所)	現在	(番号)	(具体的な場所)
1. 河内長野市内 2. 隣接市町村 3. 大阪市 4. 大阪府内(選択肢1.と2.と3.を除く) 5. その他府県(選択肢2.を除く)					

問 - 3 そこへはどのくらいの頻度で外出されますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	現在
1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に1～2日 5. 月に1日未満	

問 - 4 そこへは主にどの交通手段を使って行けますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
(2つ以上の交通手段を利用される場合は、移動距離が最も長い交通手段を選んでください。)

居住当初	(番号)	(その他は具体的に)	現在	(番号)	(その他は具体的に)
1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. 自動二輪・原付 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. 福祉タクシー 10. その他					

「居住当初」と「現在」で主な交通手段が変わった人におたずねします。
それはなぜですか。該当する番号を全て で囲んでください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------------|----------------|
| 1. 退職 | 2. 就職 | 3. 転職・転勤 | 4. 運転できるようになった |
| 5. 鉄道駅の新設 | 6. バス路線の新設 | 7. バス路線の廃止 | 8. 運転できなくなった |
| 9. 運転をやめた | 10. 身体機能の低下 | 11. その他(具体的に:) | |

問 - 5 問 - 4で「1. 鉄道」を選んだ方におたずねします。よく利用される最寄り駅について具体的に記入してください。また、駅に行くのによく利用される交通手段について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	(駅名) (交通手段番号)	現在	(駅名) (交通手段番号)
1. バス 2. 自動車(運転) 3. 自動車(同乗) 4. 自動二輪・原付 5. 自転車 6. 徒歩 7. タクシー 8. 福祉タクシー 9. その他(具体的に:)			

問 - 6 主な外出の移動満足度について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初		現在	
1. 大変満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 大変不満			

↓
3.もしくは4.を選んだ方におたずねします。その理由のうち、最も不満なものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

居住当初	1	2	3	現在	1	2	3
1. 自宅から駅が遠い 2. 駅から目的地が遠い 3. 自宅からバス停が遠い 4. バス停から目的地が遠い 5. 時間がかかる 6. 交通費がかかる 7. 混雑する 8. 乗継ぎが悪い 9. 便数が少ない 10. 利用したい時に利用できない 11. 乗り換えが面倒 12. 乗り心地が悪い 13. 歩道もしくは自転車道が狭い 14. 身体的に利用しにくい 15. 気を遣う 16. その他(具体的に:)							

[] 市内のバスについて、あなたの利用状況とその評価についておたずねします

居住当初の記入について

現在の居住地に住み始めた頃に最も多かったバスの利用についてご記入ください。
ただし、居住し始めた時の年齢が16歳未満の人は、「20歳の時」のことについてご記入ください。

現在の記入について

現在最も多いバスの利用についてご記入ください。
居住当初と変わらない項目についてもご記入ください。

問 - 1 市内のバスの利用状況について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初		現在	
1. よく利用する 2. 時々利用する 3. ごくまれに利用する 4. ほとんど利用しない (年に1日未満)			

問 - 2 ~ 問 - 7 の回答について

「1. よく利用する」、「2. 時々利用する」、「3. ごくまれに利用する」を
選ばれた時期(居住当初、現在)の回答欄だけご記入ください。
ただし、問 - 5 については居住当初、現在ともに必ずご記入ください。

居住当初、現在の両方とも「4. ほとんど利用しない(年に1日未満)」を選択された方

問 - 2 最も利用している(していた)市内のバスについて該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	(番号)	(その他は具体的に)	現在	(番号)	(その他は具体的に)
1. 路線バス 2. モックルコミュニティバス 3. その他					

問 - 3 市内のバスの主な利用目的について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	(番号)	(その他は具体的に)	現在	(番号)	(その他は具体的に)
1. 買物 2. 通勤 3. 通学 4. 通院 5. 娯楽・レジャー 6. 仕事・業務 7. その他					

問 - 4 そのとき、主にどこまでバスを利用されますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
また、その具体的な場所・駅名についてもご記入ください。

(例. 一丁目、駅、病院、スーパー河内長野店 など)

居住当初	(番号)	(具体的な場所・駅名)	現在	(番号)	(具体的な場所・駅名)
1. 目的地の近くまでバスを使う 2. 電車に乗るために駅までバスを使う 3. その他(具体的に:)					

問 - 5] そこへはどのくらいの頻度でバスを利用されますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。（「居住当初」と「現在」の両方に必ずお答えください。）

居住当初	現在
1. 週に5日以上 5. 年に数回程度	2. 週に3～4日 6. ほとんど利用しない(年に1日未満)
3. 週に1～2日	4. 月に1～2日

「居住当初」と「現在」でバスの利用頻度が変わった人におたずねします。
それはなぜですか。該当する番号を全て で囲んでください。

1. 退職	2. 就職	3. 転職・転勤	4. 運転できるようになった
5. 鉄道駅の新設	6. バス路線の新設	7. バス路線の廃止	8. 運転できなくなった
9. 運転をやめた	10. 身体機能の低下	11. その他(具体的に:)	

問 - 6] バスでの移動満足度について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	現在
1. 大変満足 2. どちらかといえば満足	3. どちらかといえば不満 4. 大変不満

3. もしくは4. を選んだ方におたずねします。その理由のうち、最も不満なものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

居住当初	1	2	3	現在	1	2	3
1. 自宅からバス停が遠い				1. 自宅からバス停が遠い			
2. バス停から目的地までが遠い				2. バス停から目的地までが遠い			
3. 時間がかかる				3. 時間がかかる			
4. 便数が少ない				4. 便数が少ない			
5. 利用したい時間帯に便数が少ない				5. 利用したい時間帯に便数が少ない			
6. 運賃が高い				6. 運賃が高い			
7. 運行時間帯が短い				7. 運行時間帯が短い			
8. 鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い				8. 鉄道や他のバスとの乗継ぎが悪い			
9. 乗り心地が悪い				9. 乗り心地が悪い			
10. バス停施設(ベンチ 等)が不便				10. バス停施設(ベンチ 等)が不便			
11. 情報(乗場、時刻表 等)がわかりにくい				11. 情報(乗場、時刻表 等)がわかりにくい			
12. 段差や車いすへの配慮がない				12. 段差や車いすへの配慮がない			
13. その他(具体的に:)				13. その他(具体的に:)			

問 - 7] 現在市内のバスを利用されていない方におたずねします。その理由は何ですか。理由として最もふさわしいものを1つだけ選んで で囲んでください。

1. 家の近くにバス停がない	2. バスが不便	3. 運賃が高い	4. 駅が近い	5. 自動車を使う
6. バイクを使う	7. 自転車・徒歩で移動する	8. その他(具体的に:)		

問 - 8] 今後、市内のバスのサービスが改善された場合、あなたのバスの利用は増えると思いますか。該当する番号を で囲んでください。

1. 思う	2. 思わない	問 - 9] へ
-------	---------	----------

何が改善されればバスの利用が増えると思いますか。重要なものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 自宅からバス停までの距離	2. 運行時間帯	3. 運行ルート
4. バス停から目的地までの距離	5. 一日の便数	6. 時間帯別の便数
7. 運賃	8. バス停施設(ベンチ 等)	9. 座席の広さ
10. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ	11. わかりやすさ(乗場、時刻表 等)	12. 乗り心地
13. 段差や車いすへの配慮	14. その他(具体的に:)	

どのような目的でのバスの利用が増えると思いますか。該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

- | | | | | |
|----------|----------------|-------|-------|------------|
| 1. 買物 | 2. 通勤 | 3. 通学 | 4. 通院 | 5. 娯楽・レジャー |
| 6. 仕事・業務 | 7. その他(具体的に:) | | | |

どのくらいバスを利用するようになると思いますか。該当する番号を で囲んでください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 | 4. 月に1~2日 | 5. 年に数回程度 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

問 - 9

現在、河内長野市内のバスのうちモックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス及び岩湧線の3路線は合計で運行経費の約3分の2を市が負担しており、その額は市民一人当たり年間で約514円(一世帯平均だと年間で約1,371円)を負担していることになります。また、運行経費を利用料金でまかなうには今の約3倍の利用が必要となります。

このようにバスを維持・充実するために、市が経費を負担することについてどう思いますか。該当する番号を で囲んでください。

- | | | |
|-----------|----------|-------|
| 1. 当然だと思う | 2. 仕方がない | 3. 反対 |
|-----------|----------|-------|
- 問 - 10 へ

負担額についてはどう思いますか。該当する番号を で囲んでください。

- | |
|--------------------------------|
| 1. 妥当な額だと思う |
| 2. もう少し負担額を増やしてもいいのでサービスを向上すべき |
| 3. 負担額を減らすべき |
| 4. その他(具体的に:) |

市民一人当たり年間いくらまでなら経費を負担してもいいですか。 に妥当だと思う金額をご記入ください。

市民一人当たり年間で約 円 までなら妥当だと思う。

問 - 10

バスに対する経費負担に反対の方におたずねします。今後も市内のバスを持続的に運行していくためにはどうすればいいと思いますか。該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. みんなでもう少しバスに乗るようにする | 2. バスの運賃を値上げする |
| 3. バスの便数を減らしたり、路線を短くする | 4. 人員削減などの経営努力をする |
| 5. その他(具体的に:) | |

[] あなたの将来の外出についておたずねします

問 - 1 将来、あなたの外出が変化するのはいつ頃からだと思いますか。該当する番号を1つ選んでで囲んでください。

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|-------------|
| 1. 退職してから | 2. 就職してから | 3. 結婚してから | 4. 子供ができてから |
| 5. 子供が進学してから | 6. 子供が独立してから | 7. 身体機能が低下してから | |
| 8. その他(具体的に:) | | | 9. 変化しない |

[] へ

問 - 2 主にどのような目的での外出が多くなると思いますか。該当する番号を1つ選んでで囲んでください。

- | | | | | |
|-------------------------|-------|-------|-------|------------|
| 1. 買物 | 2. 通勤 | 3. 通学 | 4. 通院 | 5. 娯楽・レジャー |
| 6. 仕事・業務 7. その他(具体的に:) | | | | |

問 - 3 その主な外出先はどこだと思いますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
また、1.または2.を選択された場合は、その具体的な場所についてもご記入ください。
(例. 一丁目、駅前、病院、スーパー河内長野店 など)

(番号)	(具体的な場所)
1. 河内長野市内	2. 隣接市町村
3. 大阪市	4. 大阪府内(選択肢1.と2.と3.を除く)
5. その他府県(選択肢2.を除く)	

問 - 4 そこへはどのくらいの頻度で外出すると思いますか。該当する番号を1つ選んでで囲んでください。

- | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週に5日以上 | 2. 週に3~4日 | 3. 週に1~2日 | 4. 月に1~2日 | 5. 月に1日未満 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|

問 - 5 そこへは主にどの交通手段を使って行きたいですか。該当する番号を1つ選んでで囲んでください。

- | | | | |
|---------------------------|--------|------------|------------|
| 1. 鉄道 | 2. バス | 3. 自動車(運転) | 4. 自動車(同乗) |
| 5. 自動二輪・原付 | 6. 自転車 | 7. 徒歩 | 8. タクシー |
| 9. 福祉タクシー 10. その他(具体的に:) | | | |

[] 日常的な買物についておたずねします。現在ご家族の中で主に買物をされる方のことについてお答えください。

買物をされる方の性別・年齢・居住年数についておたずねします。

問 - 1 性別 ☐ 1. 男性 ☐ 2. 女性 年齢 歳 居住年数 年

日常的な買物の外出についておたずねします。

居住当初の記入について

現在の居住地に住み始めた頃に最も多かった買物のための外出についてご記入ください。

現在の記入について

現在最も多い買物のための外出についてご記入ください。

居住当初と変わらない項目についてもご記入ください。

問 - 2 主な買物方法について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初	現在
1. 外出して買物をする	2. 宅配を利用する
3. 買物していない	

問 - 3 ~ 問 - 7 の回答について

「1. 外出して買物をする」を選ばれた時期(居住当初、現在)の回答欄だけご記入ください。問 - 3 へ
居住当初、現在の両方とも「1. 外出して買物をする」以外を選択された方 問 - 7 へ

問 - 3 主な買物場所はどこですか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
また、その具体的な場所についてもご記入ください。

(例. 駅前商店街、 商店、 スーパー河内長野店 など)

居住当初	(番号) (具体的な場所)	現在	(番号) (具体的な場所)
1. 近所の商店や市場	2. 近所のスーパー	3. 近所のコンビニ	4. 少し離れた商店や市場
5. 少し離れたスーパー	6. 少し離れたコンビニ	7. その他	

「居住当初」と「現在」で主な買物場所が変わった人におたずねします。
それはなぜですか。該当する番号を全て で囲んでください。

- | | | |
|----------------------|----------------|-----------------|
| 1. より魅力的な店舗が見つかった | 2. 利用店舗がなくなった | 3. 新たな店舗ができた |
| 4. 車・バイクが利用できるようになった | 5. バスが使えなくなった | 6. バスが使えるようになった |
| 7. 車・バイクが利用できなくなった | 8. その他(具体的に:) | |

問 - 4 そこへはどのくらいの頻度で外出されますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初		現在	
1. 週に5日以上 2. 週に3～4日 3. 週に1～2日 4. 月に1～2日 5. 月に1日未満			

問 - 5 そこへは主にどの交通手段を使って行けますか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。
(2つ以上の交通手段を利用される場合は、移動距離が最も長い交通手段を選んでください。)

居住当初	(番号)	(その他は具体的に)	現在	(番号)	(その他は具体的に)
1. 鉄道 2. バス 3. 自動車(運転) 4. 自動車(同乗) 5. 自動二輪・原付 6. 自転車 7. 徒歩 8. タクシー 9. 福祉タクシー 10. その他					

問 - 6 買物の移動満足度について該当する番号を1つ選んでご記入ください。

居住当初		現在	
1. 大変満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 大変不満			

3. もしくは4. を選んだ方におたずねします。その理由のうち、最も不満なものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

居住当初	1	2	3	現在	1	2	3
1. 自宅から駅が遠い 2. 駅から買物先が遠い 3. 自宅からバス停が遠い 4. バス停から買物先が遠い 5. 時間がかかる 6. 交通費がかかる 7. 混雑する 8. 乗継ぎが悪い 9. 便数が少ない 10. 利用したい時に利用できない 11. 乗り換えが面倒 12. 乗り心地が悪い 13. 歩道もしくは自転車道が狭い 14. 身体的に利用しにくい 15. 気を遣う 16. その他(具体的に:)							

問 - 7 今後、市内のバスのサービスが改善された場合、買物をされる方の買物でのバスの利用は増えると思いますか。該当する番号を で囲んでください。

1. 思う	2. 思わない	アンケート調査は終了です。
-------	---------	---------------

何が改善されれば買物でのバスの利用が増えると思いますか。最も重要なものから順に3つまで番号を選んでご記入ください。

1 番目	2 番目	3 番目
1. 自宅からバス停までの距離 2. 運行時間帯 3. 運行ルート 4. バス停から買物先までの距離 5. 一日の便数 6. 時間帯別の便数 7. 運賃 8. バス停施設(ベンチ 等) 9. 座席の広さ 10. 鉄道や他のバス路線との乗継ぎ 11. わかりやすさ(乗場、時刻表 等) 12. 乗り心地 13. 段差や車いすへの配慮 14. その他(具体的に:)		

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

河内長野市の福祉交通を考えるための市民アンケート調査

調査票

おひとりで外出するのが困難な方のことについてお答えください。

二人以上おられる場合は、より困難な方のことについてお答えください。

問1 性別 1. 男性 2. 女性 年齢 歳

問2 普段の主な外出はどうされていますか。該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

1. 介護タクシー・福祉タクシーを利用している
2. ボランティア団体による移送サービスを利用している
3. 家族などの運転による自家用車を利用している
4. 家族などの介添・介助により既存のバス、一般タクシーを利用している
5. 家族などの介添・介助により徒歩、または車いすで外出している
6. その他(具体的に:)
7. 外出しない(できない)

アンケート調査は終了です。

問3 主にどのような目的で外出されますか。該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

1. 買物 2. 通勤 3. 通学 4. 通院 5. 娯楽・レジャー
6. 仕事・業務 7. その他(具体的に:)

問4 その主な外出先はどこですか。該当する番号を1つ選んでご記入ください。

また、その具体的な場所についてもご記入ください。

(例. 一丁目、 駅、 病院、 スーパー河内長野店 など)

- | (番号) | (具体的な場所) |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 河内長野市内 | 2. 隣接市町村 |
| 3. 大阪市 | 4. 大阪府内(選択肢1.と2.と3.を除く) |
| 5. その他府県(選択肢2.を除く) | |

問5 そこへはどのくらいの頻度で外出されますか。該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

1. 週に5日以上 2. 週に3~4日 3. 週に1~2日 4. 月に1~2日 5. 月に1日未満

問6 普段の主な外出の移動満足度について該当する番号を1つ選んで で囲んでください。

1. 大変満足 2. どちらかといえば満足 3. どちらかといえば不満 4. 大変不満

3. もしくは4. を選んだ方におたずねします。どんな移動手段があればいいと思いますか。あなたが望まれていることを具体的にご記入ください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。